

令和2年6月26日（金） 教育センター202室

13:30～ 選定基準の読み合わせ

13:45～ 調査研究・協議 司会（教頭）

- ・ 令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準及び選定資料を見ていきます。
- ・ 教科共通の選定の観点に沿いまして見ていきたいと思えます。

【東京書籍】

- ・ それでは、東京書籍から、「(1) 内容の範囲及び程度」について、いかがでしょうか。3つの観点で見えていきます。既に挙げて頂いています。
- ・ 学習課題が示され、教科の目標達成に結びつく内容になっているとあります。
- ・ 生徒の発達段階に適応しています。
- ・ 学習指導要領に示す内容及び、内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げている。と挙がっています。
- ・ その他挙がっているものを説明願います。
- ・ 見開き2ページで1時間の授業で設定されている。合計時数が100時間の標準時数に加え、予備時数も設けられており、柔軟なカリキュラムで対応することができる。1章から5章までバランスよく時数が配当されている。学習指導要領の内容に沿った程度範囲である。中学生にとってわかりやすい表現で、因果関係をつかみやすい内容である。を挙げています。
- ・ 「・」の1つ目、2つ目は、3つ目は、まとめてよろしいでしょうか。
- ・ では、みなさん、「内容の範囲及び程度」は、3つにまとめる形でよろしいでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ 次に、「(2) 内容に関する配慮事項」についていきます。まずは、各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。(QRコード・小学校とのつながり) 言語活動の充実について内容が配慮されている。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。3つ書いて頂いています。4つ目の観点は、「個に応じた配慮」がポイントです。
- ・ 各ページ右下の「トライ」の部分で学習内容を生徒の言葉で表現することが求められており、言語活動が活発に行われる内容となっている。
- ・ 「学習課題」で一単位時間の課題が明確に示されており、生徒の主体的な問題解決的な学習を行うことができる。こちらは、1つ目のポイントでまとめられます。系統的、発展的指導ができるように配慮されている。
と挙がっていますが、1つ目でまとめてよろしいかと思われま。
- ・ 学習單元ごとに探究課題が設定されており、1時間ごとの学習課題を解決していくことで探究課題の解決に迫るように配慮されている。と挙がっています。こちらは問題解決型の学習についてでしょうか。
- ・ そうです。3つめの観点についてです。少し整理して、選定の観点のア～カで整理していきましょう。
こう考えていくと、エ・オ・カの部分の調査結果を挙げたいと思えます。エ・オ・カの観点でもう一度見て、意見をお願いします。
- ・ エについては、特別支援教育の視点でしょうか。内容でしょうか。
- ・ その場合は、内容です。語句の説明や定着を図る工夫、QRコードなどで子どもの学習状況に応じて活動が工夫できるような点が、「個に応じる」というものです。

- QRコードが活用できる。分野を越えてページを閲覧できる。他教科とも関連でできる。子どもたちが自分で調べるような活動がある。
- 読み取ってみました。他教科もありますか。
- あります。ただし、東京書籍の教科書をどの教科でも使っていればより便利であるようです。
- QRコードを活用すれば、個に応じた学習を進めることができる。一方で、QRコードの移動先が東京書籍のHPとなっているので、同者の教科書を使用していなければ、他教科・他分野が難しい。ということでしょうか。
- よいです。
- さて、「安全面への配慮」についてです。ご意見ございますか。
- 安全面への配慮は、どの教科書も、そもそも安全面で心配な活動が設定されていない。ロールプレイングや思考ツールの活用が促されており、そもそも取り上げている内容が、安全面に配慮した内容になっているということです。
- こちらではp.26ですね。
- 教科書や教室での活動中心で完結できます。
- では、(カ)です。
- 発展的内容自体も区別されているので、生徒の負担にもならないと思います。学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を越えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。ということですね。
- 具体的には、p.24です。
- では、「(3)分量」についてです。挙がっているものを確認します。
- 標準時数と予備時数が含まれており、柔軟なカリキュラムをつくることなど、全体の分量は、授業時数からみて適切である。学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。
- その他挙がっていますが、該当するものがあるので、まとめてよろしいですか。
- よいです。
- 「(4)使用上の便宜」についてです。
- 本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。資料が豊富で見やすく、コラムも充実しており、深い学びにつなげることができるように工夫されている。一単位時間の学習が効果的に深めることができるよう、適切に図や資料が配置されている。過不足は感じられない。レイアウトが学習の深まりに有効に働くように配置されている。発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。これらが、挙げられています。
- その他の意見が上がっていますが、説明をお願いします。
- 挙げた意見は、それぞれ同様の意見があるのでまとめるか削除で結構です。
- では、先ほどの形のまま行きたいと思います。
- 「(5)印刷・製本」についてです。
- 印刷は鮮明であり、すべての生徒の色覚特性に適應するデザインとなっており、フォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。を挙げて頂いています。先生から挙げて頂いた資料を見比べて、同様の意見が並んでいますのでこちらでいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- よいです。
- では、東京書籍の教科共通の選定の観点はここまでにしたいと思います。
- なお、これ以降は、各者の教科共通の観点を洗い出します。その後、社会科の選定の観点・各分野の観点を発行者別にみていきたいと思います。

【教育出版】

- では、教育出版です。同様に進めていきます。
- 「(1) 内容の範囲及び程度」についてです。教科の目標達成に結びつく内容となっている。生徒の発達段階に適応している。指導要領の内容に沿った程度範囲で1章から6章までバランスよく時数が配当されている。領域および分野、内容を不足なく取り上げている。これらが挙がっています。その他意見が挙がっていますが、説明をお願いします。
- ア～ウに該当していますので、まとめて頂いて結構です。
- では、まとめた通りでいきたいと思います。
- 「(2) 内容に関する配慮事項」についてです。各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。言語活動の充実について内容が配慮されている。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。とまとめられると思います。これについては、同義ということよろしいでしょうか。
- よいです。
- エ・オ・カについての意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
- 東京書籍では、どうだったでしょうか。
- 「QRコードを活用すれば、個に応じた学習を進めることができる。一方で、QRコードの移動先が東京書籍のHPとなっているので、同社の教科書を使用していなければ、他教科・他分野が難しい」という意見を挙げました。
- 個に関して、東京書籍と同様ではないだろうか。裁判員制度の模擬裁判や思考ツールの活用が工夫されており、そもそも取り上げている内容が安全面に配慮した内容になっているということですか。
- それは、オに該当する箇所ですね。
- エでは、本文の横に語句の説明があるなど、個に応じた指導への配慮がされています。
- それでまとめましょう。
- では、カについてはどうでしょうか。
- 学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
- 「(3) 分量」についてです。
- 合計100時間で1章から6章までバランスよく時数が配当されているなど、全体の分量は、授業時数からみて適切である。学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。が挙がっています。
- その他意見が挙がっていますが、説明をお願いします。
具体的な時数を交えて、まとめて頂いて結構です。これでよろしいですか。
- よいです。
- 「(4) 使用上の便宜」についてです。本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。写真や図、新聞記事などの資料が豊富で見やすく、コラムも充実している。思考ツールについての説明のコラムもあり、生徒が自主的に思考ツールを使いやすくなっている。発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。判読しやすい配色となっており、グラフも点線などが使われておらず、見やすいものとなっているレイアウトが学習の深まりに有効に働くように配置されている。
- 具体を交えて、こちらでよろしいでしょうか
- よいです。
- 「(5) 印刷・製本」についてです。

- ・ 印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。公民的分野の教科書は原則1年の使用であるが、ハードカバーで3年間の使用に耐えるような丈夫さがある。他の意見もありますがどうですか。特にカバーについての説明もあります。
- ・ 以前の教科書に比べれば、丈夫になったように感じます。
- ・ 紙自体も、丈夫なつくりになっています。
- ・ ページ数も異なるようです。
- ・ 教科書の重さや通学の際のカバンの重さについても配慮が必要などころもあります。では、まとめましたが、よろしいでしょうか。
- ・ よいです。

【帝国書院】

- ・ 「(1) 内容の範囲及び程度」です。
- ・ 教科の目標達成に結び付く内容となっている。生徒の発達段階に適応している。
- ・ 学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
- ・ こちらでまとめてよろしいでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ 「(2) 内容に関する配慮事項」です。
- ・ 各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。(小学校との関連が明記) 言語活動の充実について内容が配慮されている。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。章ごと、節ごと、時間ごとに学習課題が設定されていることで、生徒の主体的な探究活動が期待できる。挙げられたものを確認すると、以上の形です。よろしいですか。
- ・ よいです。
- ・ では、他者の場合と同様にエ・オ・カについての意見をお願いしますが、エに該当する意見があります。
- ・ 一単位時間で取り扱うべきページの下部に関連のある既習事項が掲載されており、復習することができるとともに、より深化させて学習することができる。
- ・ 復習することができる部分は、「個に応じた」という部分を指摘しているのでしょうか。
- ・ そうです。
- ・ では、学習内容を的確に身につけることができるということを、「個に対して」ということで考えてよろしいでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ では、オ・カですね。
- ・ p.164 では、ディスカッションの注意点が挙がっています。「学び方」というよりは、「安全面」についての配慮に関することですね。社会科としては、理科や家庭科とは異なりますね。そうなるのと、これまで見てきた出版社は、わざわざ野外調査に行かなくてもよいという配慮があるような気がします。
- ・ そうなると、イラストを導入で多用しているので、実生活との結びつきを意識できるので、校外にでなくても良いようになっています。
- ・ では、安全な調査方法を提示してあるということです。いろいろな方法があると思うが、教科書に提示する活動でも完結できます。
- ・ では、オは、実生活に沿うようなイラストを有効に活用するなど、安全な調査方法を提示してある。屋外調査をしなくてよい。教科書で完結できる。
- ・ 帝国書院は、その意味で、大変活動が充実していますね。
- ・ 授業では、公民的分野で帝国書院のものをつかって工夫することもあります。

- ・では、力は、学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。でよろしいですか。
- ・よいです。
- ・「(3) 分量」についてです。
- ・全体の分量は、授業時数からみて適切である。学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。ページ数が約30ページ少なく、教科書全体が軽量化されている。内容がコンパクトにまとめられている。と挙がっています。その他意見が挙がっていますが、説明をお願いします。
- ・他者のものと比較すると、薄い感じがする。しかし、内容が不足しているようには感じなかった。
- ・わかりました。
- ・「(4) 使用上の便宜」です。
- ・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。その他意見について説明願います。
- ・同様の意見が挙がっていますので、まとめて頂いて結構です。
- ・では、このかたちのままでよろしいでしょうか。
- ・よいです。
- ・「(5) 印刷・製本等」が挙がっています。
- ・印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。特別支援教育の観点から、すべての生徒にとって見やすい配色やフォントでテキストがつけられていて、表現も中学生にとってわかりやすく作られている。教科書全体が軽量化されている。
- ・こちらでよろしいでしょうか。
- ・よいです。

【日本文教出版】

- ・では、日本文教出版です。
- ・「(1) 内容の範囲及び程度」
- ・教科の目標達成に結びつく内容となっている。生徒の発達段階に適切している。学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
- ・以上の意見が挙がっています。よろしいでしょうか。
- ・よいです。
- ・「(2) 内容に関する配慮事項」です。
- ・各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。各ページの下部に関連する他分野の分野名と既習事項を想起させるような発問がなされており、関連性をもたせて学ぶことができるようになっている。言語活動の充実について内容が配慮されている。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。挙げています。
- ・4つ目に、他の意見がありますが、いかがでしょうか。
- ・アに該当します。
- ・では、この他の意見についてです。学習課題の設定や振り返り・考察があるということは、個に応じた配慮があるように感じます。そのことから、章・節・時間ごとに学習課題が設定されており、末尾で「確認」することで課題に対する考察の振り返りができるようなど、個に応じた指導への配慮がなされている。としますが、よろしいですか。

- ・ よいです。
- ・ その他の意見については、いかがでしょうか。
- ・ 教科書全体を通じて新しい時代を担う主権者を育成するという目的のもと、内容が編成されている。すべての内容に見方・考え方のコーナーが設定され、生徒が深い学びが行えるように配慮されている。毎時間の学習課題について個で学習内容を深める問いが用意されている。確かめよう、資料活用のコーナーがあり、個に応じて学習内容を定着させる工夫がみられる。
- ・ この3点を挙げたが、エ「個に応じた配慮」に該当します。
- ・ では、オ・カの観点では、いかがでしょうか。「チャレンジ公民」という箇所はどうでしょうか。
- ・ 思考ツールを重視した構成により、教室内での活動を促すなど安全面への配慮がされている。
- ・ 学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
- ・ では、この意見でまとめます。
- ・ 「(3)分量」についてです。
- ・ 全体の分量は、授業時数からみて適切である。・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。以上の意見が挙がっています。
- ・ 他の意見が挙がっていますが、説明をお願いします。
- ・ すでに挙げた3つの意見と同様ですので、削除してかまいません。
- ・ 「(4)使用上の便宜」についてです。本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。
- ・ 発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。
- ・ 同様であれば、まとめますがよろしいですか。
- ・ よいです。
- ・ 「(5)印刷・製本等」についてです。
- ・ 環境に配慮して、再生紙が使われているほか、植物性のインクが使われている。特別支援教育の観点から、すべての生徒に見やすいフォント、配色を行っている。印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。UDフォントやカラーユニバーサルデザインの視点が充実している。製本も複数年の使用に耐えうるものとなっている。
- ・ 同様であれば、まとめますがよろしいですか。
- ・ よいです

【自由社】

- ・ 自由社です。
- ・ 「(1)内容の範囲及び程度」です。
- ・ 教科の目標達成に結び付く内容となっている。生徒の発達段階に適応している。学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。その他意見が出ていますが、説明をお願いします。
- ・ 特定の箇所について、詳細すぎる印象があります。
- ・ その点については(3)で取り上げてはどうでしょうか。
- ・ わかりました。
- ・ 「(2)内容に関する配慮事項」です。
- ・ 言語活動についての記載がある。「アクティブ深めよう」、書く活動中心。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を促す内容となっている。と挙がっています。

- ・ 重要語句の設定が曖昧であるとありますが、「学習内容を確実に個に応じた身に付けるまでにいたっていない」という部分もありますでしょうか。そうすると「エ」に該当しますね。
- ・ 教科書内において小学校や地理的分野などとの関連を図るような具体的な例示はなされていない。とありますが、説明をお願いします。
- ・ よさは、教科書内において小学校や地理的分野などとの関連を図るようになっている。しかし、具体的な例示はなされていないので課題とも言えます。しかし、関連の部分に注目すると、よさではないでしょうか。
- ・ よさとするか、課題とするかですね。よさの根拠はありますか。
- ・ 明示しているかどうかというところがポイントだと思います。
- ・ そうすると課題だと思います。
- ・ では、オ・カに該当する部分ですが、いかがでしょうか。
- ・ 書く活動がやはり中心になる。書く活動を言語活動とするならば、活動は安全に行える。ただし、話し合ったり他者と共有したりする活動はない。自己完結になる。体験活動とは言えない。
- ・ では、体験活動と言えるような記載がない。ということでしょうか。
- ・ 体験活動といえるような例示がなく、安全面への配慮が十分であるか判別できない。でどうでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ では、カに移ります。どうでしょうか。
- ・ 教科書に沿って取り組むと、負担過重になる。中学校社会科ではあまり見られないような事柄を重要語句で扱っていたりする部分もある。他者に比べると、多い。より広い視野から知識の定着を図るような構成であるため、生徒の実態によっては、負担過重となる恐れもある。で、いかがでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ 「(3)分量」についてです。
- ・ 全体の分量は、授業時数からみて適切である。学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。分野によっては問題ないが、取り上げている事項に偏りがある。特定の個所の説明が詳細すぎたり、余分な表現がついていたりするように感じる部分がある。という意見が出ております。その他の意見についてはどうでしょうか。アとウが異なるようですが。
- ・ 特定の内容について、詳細すぎる。その点が分量にも影響している。
- ・ 分野としての内容は問題ないが、取り上げている事項に一部偏りがある。ということは、課題ですね。
- ・ 例えば p.148 の労働に関する表現はどうだろうか。やはり、量も多い。
- ・ 「(4)使用上の便宜」です。
- ・ 学習の深まりに有効に働く写真資料は各ページに提示されているが、一方で、グラフなどによる具体的な数値などの資料が少ないため、客観性に欠けている。発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。と挙がっています。
- ・ アについては、写真資料の提示は肯定的な意見も見られます。この部分はどちらでしょうか。
- ・ 写真資料や人物の紹介は多いが、統計資料や年表が少ない。ということは、アについて、肯定的な意見も出ている意見もあります。だから、学習の深まりに有効に働く写真資料は各ページに提示されているが、一方で、グラフなどによる具体的な数値などの資料が少ないため、客観性を欠いている。
- ・ 「(5)印刷・製本等」です。
- ・ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。文字が大きく、資料も必要最小限であるため、見やすい紙面構成となっている。文字が大きく、間隔も広くとられているので読みやすい。全体的にページ数が多く分厚いという意見が挙がっています。その他の意見はいかがでしょうか。

- ・ 重なるものもあるので、まとめて結構です。
- ・ また、全体的にページ数が多く分厚い点は、通学時の荷物の軽量化を図る意味でも・・・。
- ・ 分かりました。自由社、終了です。

【育鵬社】

- ・ 育鵬社です。
- ・ 「(1) 内容の範囲及び程度」についてです。
- ・ 教科の目標達成に結びつく内容となっている。生徒の発達段階に適応している。領域および分野、内容を不足なく取り上げている。3点上がっていますが、その他の意見はありますか。
- ・ ありません。
- ・ 「(2) 内容に関する配慮事項」についてです。
- ・ 各意見をまとめますと、各分野や他教科との関連が見られる。言語活動の充実について内容が配慮されている。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。ポスターセッションやディベートなどの体験活動は設定されているため、安全に学習できるような配慮がある。と挙げています。こう見ると、エトカがありません。ご意見ありますでしょうか。
- ・ 教科書の中では、関連を示すものがあるが、明示はされていない。時折出てくる程度である。内容としても、関連が多いところもあるが、ないところもある。歴史的分野との関連は多い。
- ・ 関連するキーワードの明示はあるけれども、薄い。他教科とはあまり見られない。
では、関連や系統性について十分に配慮した紙面になっているとは言い難いという形で、エについては、スキルアップというコーナーで個に応じた指導ができるという意見が挙がっています。
「スキルアップ」というコーナー（各単元）の設定により、公民の基礎的な技能の育成を図るように、学習内容の確実な定着を図るように配慮している。よろしいでしょうか。
- ・ スキルアップコーナーはどこにありますか？「やってみよう」はありますか。
- ・ p.73にあります。ということは、公民の基礎的な技能でしょうか？
- ・ それなら、「やってみよう」のコーナーの方が、適合する。
- ・ 技能ではなく、学習内容がよりよいのではないだろうか。
- ・ 「やってみよう」の設定により、公民の基礎的な技能の育成を図るように、学習内容の確実な定着を図るように配慮している。これでいかがでしょうか。
- ・ では、オについてです。
- ・ これまでの会社と比較してもいかがでしょうか。体験活動はありますか。
- ・ シミュレーション、ポスターセッションがあります。
- ・ まとめますと、ポスターセッション、ディベートがあるので、安全に学習できるような配慮があるとするか、判別が難しいとするかいかがでしょうか。
- ・ ポスターセッションやディベートなどの体験活動は設定されているため、安全に学習できるような配慮がある。発展的な学習内容が適切である。
- ・ よろしいでしょうか。
- ・ よいです。
- ・ 「(3) 分量」についてです。
- ・ 全体の分量は、授業時数からみて適切である。学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。この他意見がありますが。
- ・ 同様のものなので、まとめていただいて結構です。
- ・ わかりました。まとめます。
- ・ 「(4) 使用上の便宜」についてです。

- 本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されているについてはご意見いただけますでしょうか。
- p.157 子ども食堂、無料学習塾、ひとり親家庭の表現で「余裕がない」という記述がある。これについては、北九州市内でも、子ども食堂や無料学習塾を利用している生徒がいるので、「余裕がない」という表現があるのは、疑問を感じます。
- 皆様いかがでしょうか。
- そう感じます。
- 様々な地域、生徒の実態に応じて、取り上げる際の配慮が必要になる。「学習を深めよう」で、教材に関しては、「子どもの貧困と子ども食堂」などセンシティブなものを取り上げられており、公平かつ多面的・多角的な視点で取り扱えるか配慮が必要である。(p157 子ども食堂、無料学習塾、ひとり親家庭の表現で「余裕がない」という記述がある。このようにまとめますが、よろしいでしょうか。
- よいです。
- 「(5) 印刷・製本等」についてです。
- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。再生紙や、植物性のインクなど環境に配慮された作りになっている。特別支援教育の観点から、すべての生徒に見やすいフォントや配色になっている。といった意見が挙がっています。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
- よいです。
- では、各者の社会科の選定の観点からみていきます。令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準及び選定資料を再度確認していきます。まず、資質・能力を育成するために教科書がどのようになっているかということを見ていきます。選定の観点は、知識・技能、思考力・判断力・表現力、関心・意欲・態度で考えることができます。こうした、3つの点で見ていきたいと思えます。これに加えて、SDGsの理念があるかどうかをあらためて見ていただきたい。では、4つの観点でみていきます。特に、4つ目は、本市がSDGs未来都市としての取組を実施しており、そこで育つ子供たちにとって良いものかどうか見ていきたいと思えます。
- では、ご意見いかがでしょうか。
- 東京書籍についてお願いします。
- 知識・技能では、全体で9か所にスキルアップのコラムが設けられており、公民の基礎的な技能を育成するとともに学びを深めることができるように工夫されています。
- 思考力・判断力・表現力では、全体で60か所に及ぶところに見方・考え方のマークがついており、社会的事象の意味・意義を社会生活と関連付けて多面的多角的に考察する力を養うことができます。
- SDGsの理念（北九州市の特色：SDGs未来都市を担う子どもたちにとって）では、SDGsについて教科書の冒頭部分で取り上げ、各章ごとに考えることができるようになっています。現実の社会問題の中でも特にSDGsの問題を取り上げることで現実社会の課題により主体的に取り組む生徒の態度を育成することができるように工夫されています。
- 見方・考え方では、見方・考え方をふまえて指導しやすいです。
- 「見方・考え方」については、働かせるのは子どもですが、どの先生でも見方・考え方を働かせるような学習ができるかどうかという点を見ていただけたらと思います。
- では、続いてお願いいたします。
- どの教科書よりも導入が充実しております。導入から学習活動まで、学習が流れやすい。導入の活動では、身近な課題だけでなく世界的課題を選択肢として取り上げることで、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。
- 見方・考え方についても、どの先生でも使いやすい教科書になっています。

- ・ 次の方をお願いします。
 - ・ QRコードの読み取りによって、他分野との関連ができる。復習もできる。主体的学習できる。
 - ・ (2)については、各章末にある「探究のステップの問いを解決しよう」(p.208)を用いて考察を行うことで(クラゲチャート、フィッシュボーン)、様々な社会的事象や社会生活と関連付けた多面的・多角的な考察を行うことができる。まとめの活動には、思考ツールを活用した空欄が段階的に設定されており、自然と多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっている。
 - ・ (3)メディアリテラシー、SDGsを十分に取上げていることがよい。
 - ・ 導入からまとめまでの活動が一貫しているので、1時間の授業が構成しやすい。
 - ・ 思考ツールも準備されているが、授業者も生徒も徐々使いこなせるような構成になっている。
 - ・ カリキュラムマネジメントの点からは、他教科との関連を明示している。それを基に、教師同士の会話がうまれていることがよいように感じる。
 - ・ 政党の取り扱いが多いところが気になる。マニフェストを具体的に出しているのは、よいかどうか。
 - ・ QRコードはどこに準備されていますでしょうか。
 - ・ 例えば、p.184にあります。一人一台でタブレットをもつようになれば、効果をさらに発揮するだろう。
 - ・ では、本市の取組との関連については、いかがでしょうか。これについては、市民の皆様や学校閲覧の意見を確認してみましよう。
-
- ・ では、次に、教育出版です。ご意見願います。
 - ・ 知識・技能について、公民的分野の改正の要点に沿った内容に配慮してつくられています。
 - ・ 現代の社会的事象について情報を調べたりまとめたりする活動が多く、知識や技能の習得につながるように工夫されています。
 - ・ 各ページの右下に「確認！」があり、学習活動の基盤となる知識をおさえることができるようになっています。苦手な生徒でも、基礎がおさえやすいです。
 - ・ 用語に過不足なく、最新の事柄を扱っている。SDGs、LGBT等取り扱っています。
 - ・ 思考・判断・表について、読み物資料が中心ではあるが、SDGsやLGBT等の最新の問題をしっかりと取り上げ、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっています。
 - ・ 各章の初めに学習の見通しを示し、学習する事柄の価値づけを行っている点から主体的に社会とかかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっています。
 - ・ 思考ツールを活用する場面や各章の振り返りで見方・考え方を使って考えさせることによって、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっています。
 - ・ 発展的学習課題が文章で説明する活動が多いので、理解が視覚優位な生徒には少し難解なものに感じられるので、並行して図式されているとわかりやすい。教師が他の資料を準備する必要があります。
 - ・ 関心・意欲・態度について、ロールプレイングや複数の立場の対立関係を用いるなど、多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっています。
 - ・ 各章に見方・考え方の視点を分かりやすく明記しており、章末では課題を解決するための視点が示され、次章へのつながりをもたせる内容となっています。
 - ・ 「公民の窓」や「公民の技」「クリップ」などの様々な学習コラムが設けられていることによって、生徒の興味・関心の高まりに即応させて学習を深めることができるものとなっています。

- ・ 各章の初めに学習の見通しを示し、学習する事柄の価値づけを行っている点（各章のはじめ）から主体的に社会とかかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっています。
 - ・ SDG s について、コラムなどに、現代社会の課題についてはSDG s にかかわる課題を多く取り上げていることで、持続可能な社会をつくる態度の育成につながるように工夫されています。本市がSDG s 未来都市であることから、その担い手である子どもたちに適しています。
 - ・ 各ページにSDG s の視点が示され、現代社会における解決すべき課題が把握しやすい。毎時間、振り返りながらできます。
 - ・ グローバル化やIT化などの現代社会の社会問題や社会的課題に対して学習内容を踏まえた考察が章末で行えるようになっていきます。また、多面的・多角的な考察が行えるような資料や図が用いられています。
 - ・ 見方・考え方について、各章や各節、一単位時間ごとに学習課題が設定されていることで、社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究し考察することで公民的資質を養うことができるようになっていきます。その際に必要となる資料が適切に配置されています。
 - ・ それぞれの單元には、見×考のマークで見方・考え方を育成する問いが設定されていることから多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっています。
 - ・ よろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
-
- ・ では、帝国書院に移りたいと思います。お願いいたします。
 - ・ 知識・技能について、資料が豊富に掲載されていて、資料を用いて考える活動が設定されています。社会的な事象を効果的に調べまとめる技能を育むための工夫がされています。
 - ・ 一方で、資料の読み取りが毎時間ごとに設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、毎時間ごとの学習での視点がぼやけてしまうかもしれない。
 - ・ 毎時間ごとに学習課題が設定され、振り返りとして「説明しよう」の活動があるため、現代社会の課題について説明したり判断したりする力を養うことができます。
 - ・ 思考力・判断力・表現力について、資料が豊富に掲載されていて、資料を用いて考える活動が設定されています。社会的な事象を効果的に調べまとめる技能をはぐくむための工夫がされています。
 - ・ 思考ツールを活用する場面や各章の振り返りで見方・考え方を使って考えさせることによって、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっています。（議論したり自分の意見を表明したりしやすい活動が準備されている。Yes/No、賛成・反対など）
 - ・ SDG s について、現代社会の課題について主体的にかかわろうとする態度の育成について、章末の文章だけでは具体的な活動に乏しい気がします。
 - ・ 話し合い活動が身近な話題で議論をしやすいが、社会の題材を扱った他者理解・相互尊重、提案、哲学的な問いにまで至っていない。
 - ・ 見方・考え方について、一方で、資料の読み取りが毎時間ごとに設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、毎時間ごとの学習での視点がぼやけてしまうかもしれない。
 - ・ 課題と学習と授業が結びついていないところがありますかね。深い学びを促すような学びを促すような紙面になっているかどうか、わからない。どのような資質・能力をつかませたいのか、明確でない。
 - ・ 課題と学習と授業が結びついているのは、比較した前の2者。
 - ・ 学習課題について、議論をしやすい構成になっているが、賛否を表明するまでで、「対立と合意、効率と公正」「持続可能な社会の実現」という点から考えると、身近なものから脱却して、社会的な課題や国際的な問題などの合意形成を体験させるような活動が多いと、より良いです。特に、後半部分であるとより良いと考えます。

- ・ 現代社会に見られる課題について、公正に判断するよう記述があり、説明の仕方や、議論するための方法、内容が「東京書籍」「教育出版」と比較すると少ないです。
- ・ 毎時間ごとに学習課題が設定され、振り返りとして説明しようの活動があるため、現代社会の課題について説明したり判断したりする力が養うことができます。
- ・ 一方で、公民独自の見方や考え方を示唆する項目が少なく、視点がぼやけてしまうように感じます。また、確認しよう・説明しようの活動が各自の学習課題の解決に直結しているかどうか判断しにくい箇所もみられました。
- ・ では、日本文教出版について、意見ををお願いします。
- ・ 知識・技能について、毎時間ごとに学習課題を解決していくことで基礎的基本的な知識の習得ができるように工夫されています。また、豊富な資料を使い、考えさせる活動を通じて技能の習得を目指す工夫がされています。
- ・ 思考・判断・表現について、振り返りや説明する活動を通じて、社会的な事象を自ら判断し表現する力の育成を目指しています。また、毎時間ごとに学習課題に対して公民的分野の独自の見方・考え方を働かせる活動が設定されているため多面的・多角的な見方や考え方をすることができます。
- ・ p.16、p.60、p.86 では図や資料、新聞などの読み取り方が示されており、情報リテラシーの涵養に効果的である。また、資料を活用させて多面的・多角的な考察力を身につけることも可能です。
- ・ 各所に「シンキングツール」が示されており、課題解決や思考の深まりに資する技能を身につけることができるように工夫されています。汎用的能力の育成につながると考えます。
- ・ 関心・意欲・態度について、教科書全体を通して現代社会の課題について主体的に判断し、表現する構成になっているため、主体的に現代社会の課題に取り組むことができます。
- ・ 各章の導入とまとめの見方・考え方を捉えさせる資料が「東京書籍」と「教育出版」に比べ少ないです。(p.126等、マンガの導入がありその意図や理解をする視点を含めて説明をしているが、学習に関心が向くかどうか疑問がある)。他者の方が、一貫性があります。
- ・ 「アクティビティ」のコーナーを活用すれば、学習課題に沿って考察することができ、主体的な学習活動を展開することが可能であるとともに、他者と協議することで対話的かつ深い学びにつなげることができます。
- ・ 見方・考え方について、情報スキルアップやアクティビティ、シンキングツールの活用を通じて、多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっています。ただし、なぜ、それを使うのか(シンキングツール等)、使いこなせないものもあります。充実はしていますが、他者と比較すると量的に多いとも言えます。教師側が意図をもって活用の仕方を判断しなければなりません。
- ・ 残りは、自由社と育鵬社です。今回は、これを検討し、市民の意見をまじえて検討を重ねます。また、今回の視点として、「技能」について、再度分析・検討をお願いします。
- ・ 「技能」については3つの点から分析をお願いします。資料を「収集する力」「読み取る力」「まとめる力」です。学習指導要領にも示されているので、この点が子どもの力がつくようなものになっているか確認をお願いします。

令和2年7月6日(月) 教育センター202室

13:30～ 選定基準の読み合わせ

13:45～ 調査研究・協議 司会(教頭)

- ・ 令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準及び選定資料を見ていきます。
- ・ 前回の続きから、選定の観点沿いまして見ていきたいと思っております。

- ・ 自由社について、確認と発表をお願いします。
 - ・ 各章の「学習のまとめと発展」において、広い視野で国際的な関わりや、個人・社会との関わりについて調べたことをもとに表現する活動を通して、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっています。
 - ・ 現代社会の社会的事象に関する情報を効果的に調べ、まとめるための資料が提示されています。
 - ・ 「アクティブに深めよう」(序盤。表が徐々に難解になる。)では、主に書く活動を中心に資料に基づいて、多面的・多角的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が養われるように構成・内容を工夫しています。
 - ・ 「ここがポイント！」で現代の社会的事象に関して考察する際、生徒が考える視点を明確に持てるような構成になっています。
 - ・ 各章に設けられている「もっと知りたい」は、主体的に社会とかかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっています。
 - ・ 資料が単純で見やすいが、生徒が興味をもって見方・考え方を働かせるような資料が少ないです。
 - ・ 現代社会における社会的事象の見方・考え方の視点が分かりにくいです。
 - ・ 章の導入や終末で、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動があまりないです。
 - ・ 公民独自の見方・考え方を働かせ、深い学びへと導き資質・能力を育むことを重視した内容・構成とは言い難いです。
 - ・ 課題を解決するための学習目標が設定されているが、本時の学習を振り返れるような構成になっていません。
 - ・ 社会的事象に対して考察を行うにあたり、グラフなどの客観性を示す資料が少ないため、多面的・多角的に考察し、客観的に社会的事象と向き合う学習活動が行いづらいです。
 - ・ それ以外にも以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
-
- ・ 次に、育鵬社について、確認・発表をお願いします。
 - ・ 資料に外国との比較を多く取り入れることによって、国際的な関わりや個人・社会との関わりについて、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっています。
 - ・ 現代社会の社会的事象に関する情報を効果的に調べ、まとめるための資料が提示されています。
 - ・ 社会的事象を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察することができるような資料配置となっています。
 - ・ 主に資料を読み取って自分の意見を書く活動を通して、多面的・多角的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が養われる構成・内容となっています。
 - ・ 現代社会に見られる課題をもとに、説明、議論する書面が充実し、公正に判断する力を高めるような工夫があります。
 - ・ 「政治の入り口」(導入。p.76)「経済の入り口」などにおいて、主体的に社会とかかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような導入の工夫が行われています。
 - ・ 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究し、解決する内容になっています。
 - ・ 各章のまとめでは、導入の見方・考え方、課題に対するまとめの内容が十分でない。
 - ・ 話し合い活動につながるような記載が不十分です。
 - ・ 毎時間、つかむ、調べる、まとめる活動ができるように教材配列がしてあり、資料を基に自分の判断や考えを表現する活動ができるように工夫されています。
 - ・ 現代社会の見方・考え方の具体が、十分伝わるような紙面でないため、教師によっては、深い学びへ導くことが難しいと危惧されます。
 - ・ それ以外にも以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 以上で、「選定の観点」に照らしたものがまとまりました。

- ・ 次に、市民の意見を読む時間をとります。
 - ・ 発行者ごとに挙げて下さい。
 - ・ 東京書籍からお願いします。
 - ・ 日本国憲法の優れた点として、地方自治が挙げられます。きちんと位置づけられていますし、人権、民主主義についても教材としては良い内容だと思う。
 - ・ その他で特筆すべきことはありますか。
 - ・ ありません。
 - ・ 次に、教育出版をお願いします。
 - ・ SDGs 17の目標を掲載し、社会や個人の様々な『つながり』に目を向けることの大切さを述べているところがよいです。
 - ・ 解説で登場する生徒の服装や言葉遣いがジェンダーフリーな描かれ方をされていて、多様性を大切にしている意味でよいと思います。
 - ・ よろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 次に、帝国書院をお願いします。
 - ・ 公的的分野の意見としては、関連が薄いということでもよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 次に、日本文教出版をお願いします。
 - ・ なぜこの学習を進めるのかということが書かれていてよい。
 - ・ 人権思想のあゆみがきちんと示され、日本国憲法で守られていることがよくわかる。
 - ・ 以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 次に、自由社をお願いします。
 - ・ 憲法9条の解釈の説明 (p.84) は、詳細で分かりやすい。現在の議論を簡潔に記述し投げかけることで、生徒が議論することができるような内容となっている。
 - ・ 憲法の取り上げ方に偏りが見られる傾向がある (P 55、59)。
 - ・ 以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 市民の意見について、最後は、育鵬社をお願いします。
 - ・ 生徒が自由に討論することが難しいような内容構成となっている。
 - ・ 憲法9条を取り扱う際、自衛隊と自衛権の説明が多いなど、一部内容に偏りがある。
 - ・ 以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
-
- ・ 最後に、学校の意見を発行者ごとに挙げます。
 - ・ 東京書籍をお願いします。
 - ・ 生徒が興味・関心をもって学習できるように、社会生活との関連を重視した構成である。その結果、民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容となっている。
 - ・ 限られた授業時数の中で、すべての内容を取り扱うのが難しい。
 - ・ 以上でよろしいでしょうか。
 - ・ よいです。
 - ・ 教育出版をお願いします。
 - ・ よりよい社会を築くために、解決すべき課題を探究するような紙面となっている。自分の考えをまとめる学習では、3分野の関連を図り、習得した知識を生かして学習できる内容になっている。
 - ・ 以上でよろしいでしょうか。

- よいです。
 - 帝国書院をお願いします。
 - 「章の問い」「節の問い」1 単位時間の「学習課題」が示されることにより、生徒が見通しをもって学習にのぞむことができるような紙面構成である。また、章・節ごとに学習を振り返る活動が設定され、生徒が確実に資質・能力を育むことができるような工夫があり、教師も活用しやすい。
 - 資料の読み取りが毎時間設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、毎時間ごとの学習での視点がぼやけてしまうかもしれない。
 - 以上でよろしいでしょうか。
 - よいです。
 - 日本文教出版をお願いします。
 - 振り返りや説明する活動を通じて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力等の育成を目指している。また、学習課題に対して現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を掲載し、資質・能力を育成する内容となっている。
 - 章の導入部分でイラストが多く、発達段階に応じているか危惧される。
 - 以上でよろしいでしょうか。
 - よいです。
 - 自由社をお願いします。
 - 現代社会の課題解決を視野に主体的に社会にかかわろうとする態度を養える内容となっている。
 - 「学習の発展」は、記述式となっているため、生徒の実態によっては取組が難しい内容となっている。
 - 以上でよろしいでしょうか。
 - よいです。
 - 育鵬社をお願いします。
 - 「政治の入り口」（導入。p.76）「経済の入り口」などにおいて、主体的に社会とかかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような導入の工夫が行われている。
 - 全体的に文章の分量が多く、情報過多となっている。
 - 以上でよろしいでしょうか。
 - よいです。
- 以上で調査研究の結果の確認に入ります。各者の「教科共通の観点」と「教科ごとの選定の観点」について、回し読みをして確認をお願いします。

16：20～ 確認

16：40～ 鏡文に押印・片付け

- 本日は、丁寧な調査研究をありがとうございました。
本日の資料を教育委員会に提出し、次回の総括部会でより良いものにしていきたいと思います。
それでは、解散します。お疲れ様でした。

令和2年6月29日（月） 教育センター 205室

13:40～ 全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）

13:50～ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10～ 各自の調査研究の読み上げ

協議：司会（教頭）

<内容の範囲及び程度>

- ・ それでは、東京書籍の「内容の範囲及び程度」について発言をお願いします。
- ・ 地図だけではなく、基礎的な資料から発展的な学習に対応する資料まで教科書の補足資料となる写真・グラフ等が豊富に掲載されている。
- ・ すごく写真資料も多くて、生徒の興味・関心を高めることができる。
- ・ 確かに、帝国書院には、載っていない文化のことやSDGsに関することもあってよい。
- ・ 内容の範囲や程度は、地理だけでなく、公民などでも使えて問題ないと思います。特に、公民で使えるSDGsを取り上げているのは、よいと思う。

全員 合意

- ・ では、帝国書院の「内容の範囲及び程度」について発言をお願いします。
- ・ 帝国書院は、地理や歴史、公民でも地図帳を活用できるように内容がしっかり入っている。
- ・ 内容に関しては、東京書籍も帝国書院もどちらも問題ないと思う。

全員 合意

- ・ では、それぞれの特徴的なところは、どうか。
- ・ 東京書籍は、地図よりも写真などの資料が充実している。帝国書院だったら、地理でしか地図を使わないような気がするけど、東京書籍だと、写真も多いので、歴史の時間にも活用できると思う。
- ・ たしかに、歴史の資料が充実しているので、資料集みたい。でも、教科書との資料の重なりもあって、授業中にこれだけの資料をうまく活用できないところもある。帝国書院の方が、圧倒的に地図に関する資料が多く載っているの、地理で使える。
- ・ 東京書籍は、地図よりは写真などの資料集的な要素を多く含んでいる。でも、私たちは、もう見慣れてしまっているから、感じていないけど、帝国書院にも歴史のところも書かれている。
- ・ 東京書籍は、写真資料など新しいものが載っているので、いろんな分野で使える。
- ・ 歴史や公民で活用となると、東京書籍。地図よりは、資料という感じが強い。帝国書院は、地図に関する資料が豊富で、地図を活用するのに長けていると思う。
- ・ 東京書籍の資料で歴史の時間に活用するかというと、また違ってくるのではないかと思う。生徒が地図を見ながら歴史に対する興味を高めたりする上では、活用できる。
- ・ 配列、構成はどうか。
- ・ 帝国書院の方がすごく見やすかった。東京書籍は、地図の間に資料が入っているので、活用しにくい。

<内容に関する配慮事項>

- ・ 内容に関する配慮事項については、どうか。
- ・ 帝国書院は、世界は州ごとに「一般図」→「鳥瞰図」→「資料図」、日本は地方ごとに「一般図」→「拡大図」→「資料図」の配列で、学習しやすい構成になっている。東京書籍は、鳥観図が地域によってばらついている。日本に関する鳥観図は、色遣いなどがとても見やすい。
- ・ 世界の鳥観図の中の文字が読み取りにくい。
- ・ 帝国書院は、「地図活用」の問題解決ができるような問いが、約 130 もあるので、生徒が主体的に学習できてよい。

全員 合意

- ・ 「領土に関する写真が東京書籍にはある」とあるが、どうか。
- ・ 帝国書院にも掲載はあるのだが、東京書籍の方が資料が多い。
- ・ 東京書籍は、最後のページにまとめて掲載されているが、帝国書院もページが分かれているが、同じ程度の内容が掲載されている。写真もあるので、両者に言える。
- ・ 統計資料については、どうか。
- ・ 東京書籍は、人口増加率まで内容を取り上げているところはよい。活用面でみると、帝国書院の方が上位・下位国 5 か国の表示が色別で表されているので、活用しやすい。
- ・ 帝国書院は、重要な歴史、地名が地図に掲載されている。世界の地図のところに、東京書籍は、ポツダムなどの名称がない。そういう面では、歴史での地図活用は、帝国書院の方が使えると思う。
- ・ 防災に関する資料も帝国書院は、たくさんある。帝国書院は、地方ごとに防災の資料が載せられているので、地形と結び付けて学ぶことができる。
- ・ 東京書籍は、ハザードマップなどの取り扱いはあるけど、全体的に防災関係の資料が少ない。

全員 合意

<分量>

- ・ 「分量」はどうか。
- ・ 東京書籍は、資料が多い分、分量もやや多い。少し、精選する必要がある。
- ・ 帝国書院は、全体の分量は授業時数から見て適切であり、地域ごとの分量に大きな差はない。
- ・ 資料は、州や地方の特色が現れるようなものが厳選されており、適切に理解できるように選定されている。

全員 合意

<使用上の便宜>

- ・ 「使用上の便宜」はどうか。
- ・ 両者とも各地域の位置図が示されているが、東京書籍は、特に世界の諸地域ではその位置図から関連する周辺地域のページがわかるため検索しやすくなっている。
- ・ 東京書籍は、各地域の基本資料において、「A—B」の断面図が大きくはつきりと示されているため、その地域における高低の特徴をつかみやすくなっている。帝国書院は、「A—B」の線が引かれていないので、断面図の特徴をつかみにくい。
- ・ 線がないと、苦手な生徒が読み取れないので、その分、時間がかかってしまう。

- ・ 日本に関する鳥観図は、東京書籍の方が見やすい。世界の方は少し文字が重なって見にくい。

<印刷・製本>

- ・ 「印刷・製本」は、どうか。
- ・ 東京書籍は、写真資料が多く、大きく掲載されていて、見やすい。
- ・ 日本の鳥観図の色合いは、とても分かりやすい。でも、地図の平野の色合いが暗くて文字が見えにくい。
- ・ 帝国書院は、地図の色使いが鮮やかで都市名の文字がはっきり見える。大阪などの密集地では特に明確で読み取りやすい。
- ・ 帝国書院は、重量も変わらず大判化され、見やすくなった。
- ・ 本日は、ここまで。次回は、選定の観点を中心に研究調査を行い、まとめていく。また学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていく。

令和2年7月8日（水） 教育センター 205室

13:40～ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

13:55～ 各自の調査研究の読み上げ

協議：司会（教頭）

- ・ 選定の観点について意見を願います。
- ・ 東京書籍は、基礎的・基本的な資料から発展的な学習に対応する資料まで充実している。
- ・ 教科書の補足資料となる写真・グラフ等が豊富に掲載されていて、生徒の発達段階に応じて活用できる内容となっている。
- ・ 多くの資料が示されているが、教科書と重複しているなど、精選が必要である。
- ・ 北九州市の重点施策である「SDGs」を大きく取り上げているので、生徒の興味・関心を高め、社会科の授業以外でも活用できる。
- ・ 帝国書院は、世界は州ごとに「一般図」→「鳥瞰図」→「資料図」の配列で構成されるなど、学習しやすい。
- ・ 「地図活用」という設問が約130問あり、地理的技能を高めながら、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。
- ・ 「社会的な見方・考え方」も働かせて問題を解くので、資料の見方とかも身に付けられる。
- ・ 随所に二次元コードがあって、学習を深める資料や学習動画へとリンクするようにしている。
- ・ 統計資料は、見やすい字体や上位や下位の国を色別表示にするなど活用しやすい。
- ・ 帝国書院は、タイトルやインデックスは、決まった位置にあり、陸高と水深の表示がどのページにもあるので活用しやすい。東京書籍は、最初しかないから、いちいち確認するのが大変。
- ・ A4の大判化にすることで地図や地図上の文字などの情報がとても見やすくなっている。

<学校や市民の意見>

- ・ では市民や学校の意見はどうか。
- ・ 東京書籍は、北方領土や竹島などに関する写真がたくさん載っているが、帝国書院は写真がない。
- ・ 前回、検討したように、帝国書院もページは分かれているが、写真もあった。
- ・ 帝国書院は、大判化されて、持ち運びが不便。
- ・ 一方で、大判化されたから、地図が見やすいという意見もある。
- ・ 他の視点を見ても、私たちの調査と意見が重なっているものがほとんどだ。
- ・ では、以上で2者全ての協議が終わった。報告の整理に入る。

16 : 00 ~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

16 : 20 ~ 印刷・確認 → 修正

16 : 40 ~ 鑑文に押印・片付け

17 : 00 終了

令和2年6月26日（金） 教育センター 207室

- 13:40～ 全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）
- 13:50～ 選定基準の読み合わせ
- 14:00～ 個別の調査・研究
- 14:45～ 各自の調査研究を集約
- 15:00～ 協議：司会（教頭）

- ・ 調査研究を各自行っていただきありがとうございました。皆さんにいただいた意見をまとめています。内容を重複しているところについては、確認していただき、修正したり、統合したりすることとしてよろしいですか。

合意

- ・ 学校からの意見や市民からの意見も含め、各発行者の調査研究を進めていきたいと思えます。市民の意見については、次回市教委より提示があります。各調査項目の視点については、県教委より示されたものを踏まえ進めることとします。
- ・ 学校からの意見については、各グループで確認していきながら、必要に応じて意見の内容を教科書と照らし合わせ確認をしていきたいと思えますがよろしいですか。

合意

【東京書籍】

- ・ それでは、【東京書籍】から見ていきたいと思えます。
 - ・ （1）の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。
- 合意
- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
 - ・ なしでよろしいですか。
- 合意
- ・ それでは（2）に移ります。0章についての意見が学校からの意見などありますが、どうですか。
 - ・ 0章について、0から始まるなどの違和感を感じるなどの意見がありましたが、意味合いとしては、1章の内容に入る前の小学校で学習する内容とのつながりという意味でとらえることができるため、この文は取ってよいかと思うがどうですか。
 - ・ みなさんどうですか。
 - ・ そのような捉えとして設定しているので、0章としての整理は特に問題ないと思う。
 - ・ それでは、ほかに意見がないようですが、この意見は除くでよろしいですか。
- 合意
- ・ その他、複数の意見がありますが、教科書と関係箇所を確認してどうですか、何か、意見がありますか。
 - ・ 問題解決的な学習の導入教材について、内容がやや難しいと思われるものがあるが、どうか。
 - ・ 皆さんどうですが、確認をお願いします。

- ・ 一部の導入でやや難しいと思われる教材がある。
- ・ このような意見がありました。この件の標記を含めてもよろしいですか。
合意
- ・ その他ありませんか。特になければ、次に移っていいですか。
合意
- ・ (3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
合意
- ・ 記載内容について、ご確認ください。記載内容について特に追加、修正等ありませんか。
- ・ QRコードの記載については、ここではなく、内容的に選定の観点に入れた方がよいかと思いますが、どうでしょうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 教科の選定の観点に移ります。
QRコードの記載については、先ほどご意見があったため、こちらへの変更でよろしいですか。
合意
- ・ その他、ご意見はありませんか。
- ・ 深い学びのページの構成として、問題解決的な学習を行いやすいことの記載を追加してはどうか。
- ・ みなさんどうですか。
- ・ 確かにわかりやすく記載しているので良いと思う。
- ・ どうですか。追加してよろしいですか。
合意
- ・ 他にありませんか。現在ご意見をいただいているものでよろしいですか。
合意
- ・ 学校からの意見も同じ内容のものが入っているので、良いと思う。
- ・ 他ありませんか。
- ・ それでは次、大日本図書に移ります。

【大日本図書】

- ・ (1)の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。
合意
- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
なしでよろしいですか。
合意
- ・ (2)に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 学習ごとにめあての記載があるが、教師が設定したいめあてと異なることも考えられ取り扱にくいことが考えられます。
- ・ このような意見がありました。どうですか。
- ・ 若年の教員にとっては、参考にはなるが、めあてとして示してあると、他の教師が意図するめあての設定が行いにくくなる。

- ・ みなさんどうですか。この件について、追加してよろしいですか。
合意
- ・ 他にご意見ありませんか。
- ・ 無いようでしたら、(3)～(5)についてはどうですか。
- ・ 一部の文字の大きさが小さく読みにくい箇所があるが、どうですか。
- ・ 教科書で確認してください。どうですか。その意見を追加してよろしいですか。
合意
- ・ その他の意見については、まとめてある内容でよろしいですか。
合意
- ・ それでは、教科の選定の観点に移ります。ご意見お願いします。

- ・ 第1学年が素数で始まっているが、正の数の領域のみで考えるものなので、最初にもってきていると思うが、学習する上で、なじみのない数学用語などを含むこともあり、正の数・負の数での導入が生徒にとって良いと考えるがどうか。
- ・なじみのある正の数・負の数を最初に取り扱う方がつまずきも少なくてよいと考える。
- ・ 今のご意見について、どうですか。追加してよいですか。
合意
- ・ その他ありませんか。無いようでしたら、次に移りますがよいですか。
合意
- ・ それでは、次の学校図書に移ります。

【学校図書】

- ・ (1)の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。
合意
- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・ なしでよろしいですか。
合意
- ・ (2)に移ります。ご意見ありますか。
- ・ 問題解決的な学習を行うことができる教材が章ごとに設定しているので、この趣旨の内容を含めるのはどうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 他に加えたり修正したりするものはないですか。どくにないようであれば、(3)～(5)に移りますがよいですか。
合意
- ・ 各章の導入は、挿絵の配置や配色が見にくいと思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。
- ・ 色が多く使われていることもあり、どの順番に見ればよいのかもわかりにくい。
- ・ ほかありませんか。その件の意見をに入れてよろしいですか。
合意

- ・ 他にご意見ありませんか。
- ・ 無いようでしたら、教科の選定の観点に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 内容のまとまりごとに次の学習に向けての課題が示してあるが、これがしめされていることにより生徒が考え発見する場面が得られにくくなると考えるがどうか。
- ・ 確認されてどうですか。同じ意見ですか。
合意
- ・ 見方・考え方については、対話文で具体例とともに示されているため分かりやすいと思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 他にご意見ありませんか。
- ・ 無いようでしたら教育出版に移ります。

【教育出版】

- ・ (1) の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。
合意
- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・ なしでよろしいですか。
合意
- ・ それでは(2)に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 学校の意見にもありましたが、数学の歴史や社会とのつながりなどのトピックスがあり、生徒の興味・関心を高める内容となっていると思うがどうか。
- ・ どうですか。
合意
- ・ 他にありませんか。
- ・ 問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を高めるための工夫も見られ、取り扱いやすいと思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 他にありませんか。なければ、(3)～(5)に移ります。
- ・ 章末問題が基礎基本と発展問題とが明確にわかれていないため、取り扱いにくい面があると思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 他にありませんか。なければ、教科の観点に移ります。
- ・ 第1学年の最初の学習として素数が取り上げられているが、他の教科書発行者でもあったが、同様の記述を挿入する必要があると思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 他にありませんか。無ければ、時間になりましたので、今日はここまでとします。

13：40～ 全体会（部長あいさつ、時程確認、各自資料とり等）

13：50～ 選定基準の再確認

13：55～ 前回の変更点の確認

14：15～ 協議：司会（教頭）

【新興出版社啓林館】

- ・ （1）の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。
合意
- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・ なしでよろしいですか。
合意
- ・ それでは、次の（2）に移ります。ご意見ありますか。
- ・ 話し合おう、説明しよう、まとめよう、など明確に場面の設定がなされているため、言語活動の充実を図ることができると思います。
- ・ どうですか。
合意
- ・ 問題解決的な学習で工夫が見られステップで示され学習が行いやすいです。
- ・ どうですか。
合意
- ・ 他にありますか。なければ、（3）～（5）に移ります。ご意見ありますか。
- ・ 巻末の付録がないため、その分学習活動の充実のための教員の工夫が必要となると思います。学校からの意見にも含まれています。
- ・ どうですか。
- ・ 付録があっても、付録を使用しない学習活動を行うこともあるが、あるに越したことはない。確かに、教員が教具として試行錯誤する必要がある。と考えるがどうか。
- ・ これらの意見も含め、この意見を挿入する方向でよいですか。
合意
- ・ 他に意見はありませんか。なければ、教科の観点に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 学びのあしあとについては、教科書を横にした使い方となり使いにくいという意見もありますが、どうですか。内容については、他教科とのつながりや、授業以外での学習の充実にもつながる内容になっていると思いますがどうでしょうか。
- ・ みなさんどうですか。
- ・ 内容については、確かに教科横断の視点や家庭での学習にもつながるものだと思います。
- ・ どうですか。使用上の便宜について、使いにくいと入れますか。
- ・ 縦と横での違いがある方が、使用方法の違いが明確にわかってよいと思います。
- ・ みなさんどうですか。
合意
- ・ 学びのあしあとについての内容については、充実しているという意見がありましたが、みなさ

らどうですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、次の数研出版に移ります。

【数研出版】

- ・ (1) の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。

合意

- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・ なしでよろしいですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、(2) に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 学校からの意見として、系統性を意識した工夫があり、意欲的に学ぶことができるとあるが、教科書を確認しましたが、確かにそのように思います。挿入してもよいのではないかと思います。どうですか。
- ・ みなさんどうですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、(3) ～ (5) に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 探求ノートは別冊になっているが、家庭学習の取組などに使いやすいとは思いますが、ワークシートと課題とのページが離れているため、使いづらいと思います。
- ・ みなさんどうですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、教科の観点に移ります。
- ・ 見方・考え方に関連する内容が登場人物の対話文の中にあるが、生徒が見方・考え方として意識する工夫がないため、若年教員にとっても指導が行いにくいのではないのでしょうか。
- ・ みなさんどうですか。

合意

- ・ その他にありませんか。なければ次の日本文教出版に移ります。

【日本文教出版】

- ・ (1) の内容について、内容が過不足なく取り上げられているとありますが、どうですか。

合意

- ・ その他の項目について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・ なしでよろしいですか。

合意

- ・ それでは、(2) に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 言語活動の意見に話し合おうの場面で、対話形式の挿絵がありヒントとなり取り組みやすいと考えます。
- ・ みなさんどうですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、(3) ～ (5) に移りたいと思います。

- ・ めあてとまとめの記載は、はっきりとして学習を進める上での方向性はわかりやすいが、教師が設定したいめあてと異なることも考えられるため、使いにくい場面もあると思うがどうか。学校からの意見にも含まれています。
- ・ みなさんどうですか。
- ・ 若年教員にとってはあってもよいかと思うが、教科書への記載ではなく、指導書などへの記載となるとよいのではないかと思う。
- ・ これらの意見を含め、教師が設定したいめあてと異なることも考えられるため、使いにくい場面もあるとの旨の記述を挿入するでよいですか。

合意

- ・ 他にありませんか。なければ、教科の観点に移ります。ご意見ありませんか。
- ・ 数学的な考え方として、わかりやすく紹介していることや生徒も意識しやすい工夫があるのではないかと思うがどうか。
- ・ みなさんどうですか。

合意

- ・ ほかにありませんか。なければ、内容の記載についての確認に移ります。
- ・ 学校や市民の意見を再度見て、意見をお願いします。
- ・ 学校図書に教科書の QR コードの内容が挙げられています、報告書にあげてよいと思います。

合意

- ・ 教育出版に挙げられた3点の内容は、挙げてよいのではないのでしょうか。

合意

- ・ 数研出版に、挙げられた1点と既習事項の取扱いの意見も挙げるべきではないのでしょうか。

合意

- ・ 日本文教出版には、「めあて」と「まとめ」の記載についてが挙げられています。報告書に挙げてよいのではないですか。

合意

- ・ ほかにありませんか。なければ、最終確認に移ります。

16 : 00 ~ 内容の確認 教科書と照らし合わせながら文言の修正

16 : 40 ~ 確認→印刷

17 : 00 修了

令和2年6月24日（水） 教育センター 305室

13:40～ 全体会（部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等）

13:50～ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10～ 各自の調査研究の読み上げ

協議：司会（教頭）

- ・ それでは、内容の範囲及び程度について意見を願います。
- ・ 全ての教科書で、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 大日本図書、東京書籍、啓林館の教科書は、変温動物と恒温動物の扱い方が学習指導要領では、第3年生で扱うようになっているが、第1学年では、発展的な扱いとしている。
- ・ 学校図書に関しては変温動物と恒温動物の表記がされていない。
- ・ 本来、恒温動物という分類を表記し、教えないといけない内容なのか。
- ・ 授業中、解説をする上では、変温動物と恒温動物の表記が必要ではないか。
- ・ 恒温動物と変温動物を発展的な内容として記載している大日本図書や東京書籍等は丁寧ではないか。
- ・ 変温動物と恒温動物の表記の仕方は学習指導要領に準じた方が良い。
- ・ 大日本図書は天体の取扱いで、学習指導要領で示されているエネルギーとの関連性の説明が乏しい。
- ・ 学校図書は、第3学年における年間指導計画時間において140時間で教えるものが80数時間になっている。少し少なすぎるのではないか。
- ・ 学校図書は、発展的な内容が少なく、基本事項を重視した扱いになっているように思う。
- ・ 教育出版は、基礎的・基本的な内容を細かに記述している。少し発展的な内容が少ない。
- ・ 内容に関する配慮事項で意見を願います。
- ・ 東京書籍と大日本図書は、単元の最初に図入りで系統的な表記をしている。他者は図入りでの表記にはなっていない。やはり、図入りで系統的な表記の方が分かりやすいのではないか。
- ・ 小学校の既習事項の内容も多く取り入れている。
- ・ 学校図書は最後にホワイトボードがあり、話し合い活動を行うツールとして活用できるが、ホワイトボードを活用できるような内容が教科書内に明確に記載されていない。
- ・ 大日本図書はキャラクターが話し合いを促すような記載の方法をとっている。
- ・ 大日本図書は、巻末の「探究の進め方」で、課題解決学習について詳しく説明されている。そのため、問題解決から考察・推論、発表までの流れを具体的な課題をもとに示している。
- ・ 学校図書は、章末問題の問題数が少ない。
- ・ 啓林館は、章末問題の問題数が多い。
- ・ 教育出版は、単元末問題で知識・理解を問う問題が多く、思考力等の育成に配慮が少ない。また、他教科との関連も少ない。

- ・ 啓林館は、「深めるラボ」のところで、高校理科との関連が図られている。
- ・ 教育出版は、観察、実験の記載のところで、「禁止」「注意」「指示」「廃液処理」に分けられた安全面の配慮が良い。
- ・ 啓林館は、実験と観察の指示のところで、探究の過程にそって分かりやすく説明している。また、見開き2ページ以内にまとめられているので、見やすいし理解しやすい。
- ・ 教育出版は、「ハローサイエンス」において、日常生活や社会で既習内容がどのように関連されているかを詳しく書いているため、思考が深まるようになっている。
- ・ 教育出版は、章頭に「学習前の私」、章末に「学習後の私」が設定されており、単元毎に自己の学びを振り返るような工夫がされている。
- ・ 啓林館は、粒子モデルやイオンモデルを教科書に書き込む箇所があり、理解を深める工夫がある。
- ・ 学校図書は、単元末問題の「学びを日常にいかしたら」において、読解力問題を取り入れており、思考力・判断力・表現力の育成が見込める。
- ・ 学校図書は、探究の方法を身に付けさせるため、実験ごとに探究の過程においてページを割いて丁寧に押さえている。
- ・ 啓林館は、探究の方法を身に付けさせるために、実験ごとにページを割いて丁寧に押さえている。
- ・ 啓林館は、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」が設けられている。これにより、思考力・表現力を育成することができる工夫がなされている。
- ・ 東京書籍で、「学んだことをつなげよう」は、日常生活と結び付けており、思考力を深める内容となっているため効果的である。
- ・ 教育出版は、小学校での既習事項を確認することができるように、「思い出そう」を随所に配置しており、工夫されている。
- ・ 教育出版は、生徒が疑問から探究できるように構成されている。しかし、見方・考え方を自由に働かせる構成になっていない。
- ・ 大日本図書は、「くらしの中の理科」が随所にあり、生徒にとって興味・関心を高める工夫がなされている。
- ・ 大日本図書は、単元末にまとめのページで学習の定着を図るようになっている。また、読解力問題も取り入れており、思考力や判断力、表現力が身につくことが考えられる。
- ・ 東京書籍は、言語活動において、「話す」活動だけでなく、「書く」活動の表記も多く、言語活動に配慮されている。
- ・ 東京書籍は、本文以外の部分で、単語の途中で改行しないようにしているため、特別な支援を要する生徒にも配慮している。
- ・ 学校図書は、他者が、問題解決学習ができるように工夫した記述があるのに対し、導入部でいきなり本文に入るため、自主的な学習を促すことができない。
- ・ 学校図書は、内容が詳しく書かれすぎることによって、要点が分かりにくい。そのため、生徒の思考を妨げることが考えられる。
- ・ 学校図書は、理科の学習の内容と職業との関連が、巻頭折込にまとめられているため、学習事項

とのつながりが感じられない。

- ・ 大日本図書は、教科書の中に、話し合い活動を促すような表記がされている。
- ・ 東京書籍は、「レッツスタート！」において、各単元の導入で主体的に学習に取り組める。
- ・ 啓林館のQRコードを用いて記載されているのは、個の学びに配慮されている。
- ・ 学校図書は、QRコードを読み取って、インターネットを活用する方法は、スマホ世代の中学生にとって、興味・関心が高まることが考えられる。
- ・ 教育出版の全学年の教科書で、算数・数学が苦手な生徒に対して、計算の仕方が分かりやすく明記されていた。
- ・ 教育出版の教科書で、重要語句を朱色で記載されているため分かりやすい。赤い色のシートを一緒に付けてくれていたら、さらに良かった。
- ・ 単元末問題は、啓林館の教科書が良かった。全国学調の問題を少し意識していた。
- ・ 実験・観察を行う上で安全面に関する表記の仕方について意見を願う。
- ・ 東京書籍は、実験・観察における注意点の表記の仕方がアイコンで表記されており、見やすい反面詳しい内容が記載されていない。大日本図書は、注意点の表記が見やすく、きちんと記載されている。
- ・ 大日本図書の教科書で、「理科室のきまり」という記載がされており、大変役に立つ。
- ・ 大日本図書は、各学年ともに巻末の資料が充実している。
- ・ 学校図書は、実験のページが4ページに渡るものもあり、生徒にとって分かりづらい。
- ・ 分量・製本・印刷について意見を願う。
- ・ 学校図書以外は、印刷も鮮明で、文字の大きさや字体、行間等も良いと思う。
- ・ 学校図書は、割り当てられた時間数が少ない。意図的に少なくしているのではないか。この時間数で学習内容を終わることができるのだろうか。学校図書の売りだとは思いますが、心配である。
- ・ 学校図書は、第1学年の生物分野のページ数が他者と比べて少ない。
- ・ 大日本図書は、少し分量が多いのではないか。
- ・ 大日本図書は、1年生と2・3年生の教科書で文字の大きさを変えている配慮がある。
- ・ 大日本図書は、従来のB5判でノートとも重ねて持ち運びがしやすい。
- ・ 大日本図書は、写真や図共にカラーユニバーサルデザインを踏まえた配色が工夫されているため見やすい。
- ・ 教育出版と啓林館の教科書が重たい。
- ・ 東京書籍は、表紙や単元の始まりの写真に迫力があり、生徒も興味・関心が引き出される。
- ・ 東京書籍は、軽い用紙を採用しているみたいで、軽量化がされていると思う。
- ・ 机の大きさが変わらないので、教科書の大きさが大きくなると、机に広げることができない。
- ・ 学校図書は、白い余白の箇所が多く、情報量が少ない。
- ・ 東京書籍の教科書の形が縦長になっているのは、観察・実験を行うときに邪魔になると思う。
- ・ 学校図書の紙の材質が悪い。その他の出版社は材質に問題ない。
- ・ 学校図書の教科書は、QRコードを多く用いているため、教科書に記載する内容を減らしているため、教科書が軽くなっている。
- ・ 全教科書で、写真や挿絵が多くあるので、資料集を買う必要なくなった。

- 学校図書と教育出版、啓林館は、新版A B変形判（縦B 5 横A 4）はノートやワーク教材等と重ねて持ち運びがしにくいように思う。
- 教育出版と大日本図書は、学年によって文字の大きさを変えていた。
- 啓林館は、授業時数と内容が適切に配分されている。
- 使用上の便宜について意見を願う。
- 大日本図書で、力のつり合いを表すとき、力の矢印のずれが大きい。
- 東京書籍は、実験のところで「結果の見方」「考察のポイント」が丁寧に記載されているので、思考力や表現力の向上が見込まれる。
- 教育出版は、一行当たりの長さが長いところがあり読みにくい。
- 横長の教科書は、生徒が左右に目線が移り、教えにくい。そのため、東京書籍の縦長はいいかもしれない。
- 啓林館は、写真の選定が良い。生徒の興味を引くものである。授業の導入を行うときには使いやすい。この場合は、横長でもよいのかもしれない。
- 大日本図書は、職業につながる内容が多く、キャリア教育につながる記載がされている。また、道徳教育の内容も記載があり、理科以外への教育にもつながる。
- 大日本図書と東京書籍は、実験の説明の考察の内容が学習の深まりにつながるような記載になっている。
- 大日本図書は、発展的な学習内容を取り入れるときに、きちんと分かりやすい表記がされており、区別化することができる。
- 学校図書は、配信型授業支援サービス「センセイエール」で、板書例・指導案・ワークシート用データが配信されている。
- 学校図書は、実験のところの記載で、全て写真で示されているため、実験によって得られる感動や驚きが奪われてしまうように感じる。
- 教育出版は、実験結果を教科書に書き込むことができるが、教科書の中に書き込むことはよくないのでは。かなりのスペースをとっている。
- 教育出版は、全体的に基礎・基本的な内容を重視しているように思う。そのため、図や写真がシンプルに感じる。
- 教育出版は、見開きの初出漢字、重要語句にふりがなをつける工夫がある。また、側注をなくし、シンプルなレイアウトになっている。
- 学校図書は、「Can-Do List」というページがあり、自己チェックカードの中で授業での目標が明確化されている。
- 学校図書で、会話文で進む箇所は、一文が長く読みづらい。
- 学校図書は、挿絵や資料が多く、本文と読み物資料の区別が分かりにくい。
- 東京書籍は、随所に科学史を漫画として記載されており、分かりやすい。
- 教育出版は、巻末に模型の付録がついているものがあるが、細くなるものは落としたりすることがあるので、あまりよくない。もう少し工夫が必要である。
- 教育出版は、実験の目的・準備・方法・結果・考察までが見開きとなっており、捉えやすい。結果を教科書に直接書き込むところもあるが、次のページに示されているものもある。

- ・ 東京書籍は、3Dで観察できる模型があるため分かりやすい。
- ・ 大日本図書は、観察・実験の内容を記載しているところを1ページに収めているが、少しフォントが小さいように思える。
- ・ 総ページ数を現在の教科書よりかなり削減しており、軽量化を図っている。
- ・ 啓林館の「深めるラボ」などのトピックの種類が多いのは良いが、発展学習や他教科との関連との区別がつきにくい。
- ・ 本日はここまでです。次回は選定の観点を中心に調査研究を行い、まとめていきます。また、学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

令和2年7月3日（金） 教育センター 305室

記録者（齋藤）

13:40～ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

13:50～ 各自の調査研究の読み上げ

協議：司会（教頭）

- ・ 選定の観点について意見をお願いします。
- ・ 福岡県や北九州市の施設や行事を写真や内容に取り扱ってくれているのが、大日本図書が大変多い。福岡県や北九州市を大切にしてくれている。
- ・ 大日本図書は、いのちのたび博物館や関門花火大会など、数多く取り上げてくれているため、シビックプライドの観点から考えても、大変有効である。
- ・ 大日本図書は、持続可能な社会にする方法の例として、本市の水素エネルギーの研究も掲載している。
- ・ 身近な施設や行事が教科書に載っていると、授業の導入等にも使用することができ、生徒は興味・関心が高まり、意欲的になる。
- ・ 東京書籍は、「活用」の部分で深い学びにつながる問題が設定されている。
- ・ 学校図書は、バーコードを読み込むと多言語表記がされており、工夫されている。
- ・ 東京書籍は、QRコードを読み取って、インターネットを活用する方法は、スマホ世代の中学生にとって、興味・関心が高まることが考えられる。
- ・ 東京書籍は、巻頭部に思考の流れや科学の有用性についてのページがあり、学習の動機付けにつながる。
- ・ 東京書籍は、巻頭部に探究の過程に直結した言語活動が示されているが、具体性がなく、生徒には分かりにくいと思われる。
- ・ 大日本図書、東京書籍、啓林館は、小学校での既習内容と中学校で学習する内容をつなぐ記載が分かりやすい。
- ・ 大日本図書は、QRコードが目次に紹介されているだけで、ウェブサイトの活用に乏しい。
- ・ 学校図書は、SDGsとの関連が分かりやすい表記となっているため、生徒に興味・関心を高める工夫がなされている。他の発行者は、SDGsとの関連が分かりやすい表記の内容が少ない。

- 教育出版は、ICT を活用する箇所が少なく目立たない。
- 教育出版は、他者と比べて単元の並びが異なっている。そのため、理科室が少ない場合は使い勝手が悪くなることが考えられる。しかし、小規模の学校なら準備がしやすいかもしれない。
- 学校からの意見はどのようなものがあるか。
(学校の報告書を各自読む。)
- 東京書籍では、密度や質量パーセント濃度、溶解度など、つまずきやすい内容では例題をあげて、丁寧に記述している。
- 東京書籍は、多彩なコラムで日常生活や日本のもつ科学技術に触れており、学びが深まる。
- 東京書籍は、A4 スリム版が採用されているが、自然に閉じやすい。
- 東京書籍は、学習内容を深める本・内容と関連する本について、「科学の本棚」で紹介されている。
- 東京書籍は、巻末資料「理科の学習を深めよう」でいのちのたび博物館などが紹介されており、博物館との関連が図られている。
- 大日本図書は、各単元の最初や側注に既習内容とこれからの学習内容が図入りで記載され、系統的な指導ができる。
- 大日本図書は、観察実験の「結果から考えよう」と「結果の例」が別のページになっていることで、生徒自らの思考を遮らない。
- 大日本図書は、巻末の「行ってみよう！科学館・博物館」で、生徒にとって身近な存在である『福岡市科学館、福岡県青少年科学館、北九州市いのちのたび博物館』の三か所やエコタウンの写真が掲載されている。
- 学校図書は、「学びの交換アイデアボード」が最後のページにあることで、話し合い活動がしやすいように、配慮されている。
- 学校図書は、「Can-Do List」という自己チェックシートで、章の目標が示され、評価との関連が明確化されている。
- 教育出版は、発展（高校での学習事項）のトピックが多い。
- 教育出版は、重要語句が朱色で書かれており、赤シートで消すことで自学しやすい。
- 教育出版は、各学年、巻末に切り離し可能なカードがついているが、保管スペースの配慮がなく、教室に散乱したり、紛失したりするように感じる。
- 啓林館は、「探Qシート」が付属され、問題解決的な学習を進めながら、言語に関する能力の育成を図る配慮がなされている。
- 啓林館は、実社会・実生活と学習内容との関連性が分かりやすく紹介されている。
- 啓林館は、写真が豊富だが、雑多な感じがあり、分かりづらい。
- 市民からの意見はどのようなものがあるか。
(市民の意見を各自読む。)
- 東京書籍は、いのちのたび博物館などが紹介されており、博物館との関連が図られている。
- 東京書籍は、各学年でSDGs との関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。
- 大日本図書は、巻末に、生徒にとって身近な「いのちのたび博物館」等の写真が多く記載されており、生徒の興味・関心が高められる工夫がされている。

- ・ 大日本図書は、発電を見開きで長所・短所・しくみが書かれていてとても見やすかった。
 - ・ 大日本図書は、各学年でSDG sとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。
 - ・ 学校図書は、各学年でSDG sとの関連が分かりやすいように取り上げられている。
 - ・ 教育出版は、各学年でSDG sとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。
 - ・ 教育出版は、自然破壊やウミガメなどを載せているが、プラスチックの良さが目立つ。
 - ・ 啓林館は、各学年でSDG sとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。
- ・ 以上で5者全ての協議が終わった。報告の整理に入る。

16 : 20 ~ 大型スクリーンに様式を映して観点ごとの内容を整理。

16 : 40 ~ 印刷・確認 → 修正

16 : 50 ~ 鑑文に押印・片付け

17 : 10 終了

令和2年6月29日（月） 教育センター208室

- 13:40～ 全体会
時程・資料等説明、部長あいさつ
- 13:50～ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究
- 14:10～ 各自の調査研究の読み上げ
協議：司会（教頭）

【協議】

- ・ それでは、教育出版、教育芸術社の一般について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。
 - ・ 教科の目標に結び付く内容になっていることについては、両者そのようになっているとご意見がある。いかがか。
合意
 - ・ 内容の程度についてはいかがか。
 - ・ 簡単な楽曲からの配置となっているが、曲の構成等も含めた学習にもなっている。
 - ・ 小学校での既習事項を考えると、中1の教科書掲載の「アニー・ローリー」は、曲自体は簡単だがコードネームや短調等出てくるので、中学校入門期の生徒には難しい配置となっている。生徒には負担感がある。我々にとって経過音は簡単だが、音符に抵抗感がある生徒は難しい。教芸のほうは、「主人は冷たい土の中に」があるが、小学校での既習事項を踏まえた内容となっている。系統性がある。
 - ・ 教出は音楽理論が導入時にあるが、生徒のことを考えると、この通りに音楽理論を真っ先にもつてくることはできない。我が市の教員の実態も考慮すべきである。
 - ・ 若手の教員の実態からして、教出は難しい選択を迫られながらの授業づくりとなる。
 - ・ 「青空へのぼろう」「アニー・ローリー」は、生徒の意欲をかきたてる楽曲ではない。生徒の意欲面を考えると配置がよいのは教芸である。
 - ・ 同感である。「旅立ちの日に」では、子どもの反応に新鮮味がないことはよくあることである。
 - ・ 音楽活動が一緒ならば、なおさら生徒の新鮮味はない。
 - ・ 学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、領域又は分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げているかどうかについては、いかがか。
- 一同 問題ない。
- ・ 教出は鑑賞が詳しい。専門性を追求している音楽科教員としては魅力的である。しかし、生徒は文字が多いと抵抗感が大きい。
 - ・ 例えば、両者の教科書で比べるとどうか。
 - ・ 教芸は1年、教出は2・3年の「越天楽」で比べると分かる。すっきり見えるのは、教芸である。教出は資料が多く、6頁に渡ることもある。
 - ・ フーガは1頁で残念である。
 - ・ なるほど。
 - ・ 教出は、気合が入っている。教師には魅力的である。しかし、1コマで1つの教材を終結させる

ことができるようなものでないと大変なこととなる。詳しいので勉強になる。

- ・ 生徒の実態に合わせて教員が活用するには、難しいことが否めない。
- ・ 配慮事項を1つ挙げてみるとよいのではないか。
- ・ 先生方のお話を聞いて考えたことは、教出は知的理解を重要視した掲載となっている、そして専門教員には興味をくすぐられる魅力的なものとなっているが、本市の生徒の実態には難しいということか。
- ・ そういうことである。

一同 同意。

- ・ 教芸はその真逆である。
- ・ 子ども目線で分かりやすいということかと。
- ・ 対比すると特徴が分かりいい。
- ・ 教芸は見慣れている。教芸は民謡の種類は、「しごとうた」「おどりうた」と分類して分かりやすい。
- ・ 共感である。
- ・ 教芸は、アジアの諸民族の音楽は、統一性がない。教出は「声」といった視点でまとめてあり、生徒にとって分かりやすい。視点がある。
- ・ いいことを言われた。
- ・ 我が国の伝統音楽は、とても大切にされている観点である。
- ・ 使用上の便宜についてだが、そちらにも関わることかと思う。
- ・ 教出は視点を声にして掲載し比べている。
- ・ 教芸は国の紹介と共に掲載されている。
- ・ 教芸は特徴を文化ととらえ、その特徴をつかみやすいものを掲載している。教芸は選曲数が多い。
- ・ 教芸は諸外国の特徴を捉えやすい楽曲が掲載されている。
- ・ 地域の特徴を生かした掲載となっている。教出の鑑賞曲においては、ページ数にばらつきがある。
- ・ 教出の内容に関する配慮事項だが、掲載の仕方について生徒の思考の流れにそぐわないとのご意見があったのだが、いかがか。
- ・ 「シェエラザード」の隣に「能」が掲載されていることに違和感がある。
- ・ 異質な感じに同感である。
- ・ 資料としてなので、ありかと思う。ボレロとの関連かと。
- ・ 入り混じっているので、分かりにくい。
1年の教科書においても同様である。
- ・ 器楽の教科書にあるものも掲載されている。
- ・ 生徒の思考にそぐわないということか。
- ・ そういうことである。
- ・ 教出は対比させる観点で作成したのだと思う。
- ・ 対比させているから、本市の生徒にそぐわないということか。
- ・ だからこそ分かりやすいと思うが。
- ・ 対比は分かるが、分かりやすい掲載になっていない。ページを飛ばした対比があったり、演奏をしてみようという掲載があったりするので、授業しづらいし、本市の生徒の実態にそぐわない。
- ・ 使用上の便宜はいかがか。

- ・ 教芸はすっきりとしたものになっている。
- ・ 教芸は、指導すべき事項の焦点が絞られており、使いやすい。
教出は、資料がさまざまあって知識を得ることができるが、指導するときの焦点が絞りづらい。他にあるか。
- ・ 教出は、君が代の掲載の仕方が、3年間一緒である。毎年同じなのはいかがなものか。
- ・ 教芸は文書が一緒だが、写真は違う。
- ・ 君が代については、そう変わらないので、特徴にはならないかと思う。
しかし、さざれ石の写真があり、説明しやすい。
- ・ 教芸は見栄えがしない。
- ・ 選定の観点からいうとどこか。
教出は、専門的で資料が多いが、本市の状況にはそぐわない。教芸は、資料も適切で使いやすい。本市の実態に沿っている。これが結論かと。
- ・ これだけは譲れないところがあるかと思いますが。例えば、教芸は音楽を形づくっている要素が掲載されている。音楽の見方・考え方に資するものであると思うが。
- ・ 同感である。そこの記述は必要かと思う。
- ・ 教出にもある。
- ・ 教出はユニットという言葉であり、学習指導要領の言葉ではないし、各題材に掲載されているものではない。
- ・ 目次の次に学習内容の系統図がある。教師が系統的な指導をする上で、説明しやすい。
- ・ 教師と生徒の思考の流れにあう。
- ・ 言語に関する能力については、いかがか。
- ・ 教出は書くところが多い。便利である。

一同 同感である。

一同 記載事項に同意

- ・ 創作に関しては既習事項をもとにした創作ではない。生徒の思考の流れが途切れる。
- ・ 同感である。関連性が難しい。
- ・ 夏の思い出は、一音につき、言葉がいくつ乗っているという学習もする。2年生でよいのでは。
- ・ 教出は、写真が素晴らしい。情景がわかりにくい生徒も分かりやすい。
- ・ そういったご意見の記載もあった。(記載文を読む) いかがか。

一同 合意

- ・ 表紙について多数ご意見もあったが、(記載文を読む) いかがか。
- ・ 多面的にご意見いただいているが、生徒の思考に沿っている記載分を生かしてはどうか。

一同 合意

- ・ 教芸は、教科間の関連を図ることができる掲載がある。木下牧子さんと谷川俊太郎さんの写真と記述である。国語科と関連を図ることができる。
- ・ 内容に関する配慮事項に記載させていただいてもよろしいか。

一同 合意

- ・ 他にいかがか。

一同 なし

- ・ 両者一般については、先生方のお考えを生かして、記載させていただいた。同様の記載事項はま

とめるので、次回確認をしていただければと思う。休憩をはさんで器楽となる。

(10分間休憩)

- ・ それでは、教育出版、教育芸術社の器楽について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。
- ・ 教芸の教科書はソプラノリコーダーでもアルトリコーダーでも授業できる。学習内容はバランスがよい。
- ・ 同感である。見やすい。
- ・ 運指についてのご意見もあった。教出は、(記載文を読む) こうあった。かたや教芸はインデックスのように掲載があるので、分かりやすいとのことであった。いかがか。

一同 同意

- ・ 分かりやすく丁寧であるというご意見の記載が多かった。
- ・ どれがドかという生徒にとっては分かりやすい。
- ・ 教芸は系統だっているの、丁寧。ギターに掲載もよくて、使いやすい。
- ・ 教出は、教師が購入したい教科書ではある。
- ・ 器楽に関しては、先生方皆さんお考えが同じようである。先生方からいただいたご意見を読み上げるので、同意かどうか回答をお願いします。(読み上げて)(同意)
- ・ 選定の観点10に関わることで、箏の記載について、教芸と教出のご意見をいただいた。いかがか。
- ・ 演奏者のメッセージがあることもよい。
- ・ 言語の能力についてだが、教出は相違点類似点を比べることで話しやすいとあったがいかがか。

一同 合意

- ・ 教出のオリジナル曲は使いづらい。
- ・ 教出QRコードは使い勝手が良くなかった。
- ・ 色彩についても多数ご意見をいただいた。いかがか。
- ・ 検定本として合格しているので、大丈夫なのは。
- ・ 現場としては、黄色の下地に楽譜は見えにくいと思う。
- ・ 教出は、専門的で面白い内容の掲載があるが、生徒の実態にそぐわないというご意見の記載があったが、いかがか。

一同 合意

- ・ 教芸は、ワークシートが少ないというご意見あったが。
- ・ その通りである。

一同 合意

- ・ バランスが良く教材の配分や分量については、適切であるとの記載が多数あったが、いかがか。

一同 合意

- ・ 先生方のご意見いただいたことをまとめたが、同じところや違うところを特徴立ててまとめていくので、次回ご確認いただければと思う。
- ・ 一般と同じですが、音楽の見方考え方を働かせるといったところの視点となる音楽を形づくっている要素の記載が教芸にはあり、分かりやすいというご意見あったが、いかがか。

一同 合意

- ・ 本日は、ここまでである。次回は、学校と市民の方のご意見を中心に研究調査を行い、まとめて

いく。

(今回のお礼と次回の連絡)

16:45～片付け、解散

令和2年7月8日(水) 教育センター 208室

13:30～ 時程・資料等説明

部長あいさつ

13:40～ 前回を受けて仕上がった一般部門2者と器楽部門2者の調査研究報告書の精査
趣意書、教科書を使った文言確認作業

学校市民の意見の精査・調査研究報告書、趣意書、教科書を使った作業

15:30～ 協議

司会(教頭)

- ・ 教育出版者においては、リズムを学ぶことができる教材がないということであるが、いかがか。
- ・ 拍をうってのリズム学習という意味ではないか。
- ・ 教芸は創作においては、リズムの学習になる。
- ・ リズムは、連続していないとリズムにならない。すべての楽曲において学ぶことができる。
- ・ 拍の概念のことであるのでは。
- ・ 小学校においてはよくある。教育芸術社においては、1年生16, 17ページに掲載がある。
- ・ 教出にはないようである。
- ・ それはそのまま教芸の長所としてあげるとよいのでは。

一同 合意

- ・ 内容に関する配慮事項に挙げる。
- ・ 以上で2者一般部門と器楽部門全ての協議が終わった。報告の整理に入る。
- ・ ページによっては、五線の幅が狭くなったり、音符が小さく見えたりするところがある。
- ・ 教出か。
- ・ はい。
- ・ 教出は「花」においても様々配慮されている。
- ・ 楽譜の割り付け方も工夫されている。
- ・ では、学校の意見において、教芸の意見に進む。資料が少ないという意見。
- ・ 生徒にとっては、分かりにくい。

一同 このことに関しては、協議してきたとおりである。

- ・ 器楽である。
- ・ 内容に関する配慮事項である。技能の習得という感が否めないというご意見。

一同 確かに。

一同 報告書に上げよう。

- ・ 知的財産についての掲載がないという意見がある。

一同 一般では両者ある。

- ・ 続いて学校からの意見で、教芸の内容に関する配慮事項。和楽器の曲にはJポップやアニメの曲

等、生徒が親しみやすい楽曲の掲載がある。分量だが、選択の幅が広い。

- ・ 何の選択か。
- ・ 邦楽と洋楽。
- ・ 使用上の便宜でもよろしいか。
- ・ 楽曲という言葉も必要では。

一同 挙げよう。

- ・ 市民の方のご意見はどうするか。
- ・ 魅力的な楽曲が多いということでは。
- ・ 市民の方のご意見は、そういうことを言われているのでは。
- ・ 一般器楽どちらも記載があったので、どちらも挙げることにする。

一同 はい。

- ・ では、皆様にご確認いただきたい。

16 : 20 ~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

16 : 50 ~ 印刷・確認 → 修正 × 3回

17 : 20 ~ 鑑文に押印

17 : 45 次回総括部会の連絡・修了・片付け

令和2年6月26日（金） 教育センター 202室

13:40～ 全体会（部長あいさつ、時程確認、各自資料とり等）

13:50～ 選定基準の確認

14:10～ 各自の調査研究の紹介
調査研究の意見をうかがう。

協議：司会（教頭）

【開隆堂出版】

- ・ それでは、開隆堂から内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・ 全ての題材で、「学習のポイント」が示されているため、生徒が学習のねらいを捉えやすく、教科の目標が達成しやすいです。この教科書では、特に「学習のポイント」に独自性がみられます。
- ・ 学習指導要領に基づいた領域を不足なく取り上げ、絵画・彫刻、デザイン・工芸の題材がバランスよく構成されています。絵画と彫刻、デザインと工芸が1学年では半々、2・3学年でも一番かけ離れていないのが開隆堂ですね。

全員 合意

- ・ 協働や協力をして活動する題材を多く取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるように発問が工夫されていますね。

全員 合意

- ・ 内容に関する配慮事項についてはいかがでしょうか。
- ・ 「学びの地図」や各領域の解説を設けることにより、“表現”と“鑑賞”を相互に関連させることの重要性を示し、学習に見通しと意義をもたせることができる内容になっています。冒頭で、“表現”と“鑑賞”の関連の重要性を主張していることはよいと思います。
- ・ 協働や協力をして活動する題材を多く取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるように発問が工夫されています。
- ・ 他教科との関連がページ下部に多く示され、教科横断的な視点による教育内容の組み立てが可能となりやすいですね。つまり、カリキュラム・マネジメントを充実させることにより学習に広がりをもたせながら、学校が目指す資質・能力の育成や取組を全教職員が共有することに繋がると考えられます。

全員 合意

- ・ では、分量や使用上の便宜についてはいかがでしょうか。
- ・ 1年67頁、2・3年123頁、総頁数190頁。分量は3者のうち最も多く、先ほどのことにつながりますが、幅広い題材の中から、生徒の発達段階や学校、地域の実態に応じたカリキュラムを編成しやすいです。
- ・ 「学びの地図」では美術の領域が丁寧に分類され、生徒と作品との出会わせ方の方法が記載されており、学習内容の概要を理解しやすいですね。
- ・ 「学習のポイント」や「作者のことば」が示されていることにより、話し合い活動を通じて主体的・対話的で深い学びへと繋げ、発想や構想を広げて主題を生み出すことができるような内容になっています。

全員 合意

- ・ 印刷・製本等についてはどうでしょうか。
- ・ A4ワイド版で、通常のA4より、約2cm大きく、製本もしっかりしているし、紙の質は良好で、開いたときに使いやすく、発色が鮮やかでギラツキが少ないですね。
- ・ 色相環を少数派色覚者にもわかりやすいものにするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮し紙面の配色が工夫されていて好感がもたれますね。
- ・ 学校からの意見にあるように、単語や文節が途中で改行されないようにし、文章は意味のまとまりごとに読みやすく工夫されているところもよいと思います。

全員 合意

- ・ 写真資料がふだんに掲載され、指導に活用できるようになっているが、他者と比べ、やや不鮮明な写真がありますね。
- ・ 特に、1学年「絵や彫刻で学ぶこと」の画像が気になります。美術の教科書なので鑑賞や表現への配慮が必要ではないでしょうか。
- ・ 2・3年生の表紙の鑑賞作品の図版の色みが強すぎますよね。インパクトはありますが、机の上に置いておくと、生徒が目移りするのではないかと気になります。

全員 合意

- ・ 次に、美術科の選定の観点からお願いします。
- ・ 表現及び鑑賞の幅広い活動で、「学習のポイント」や「目標」を通じて造形的な見方・考え方を働かせながら造形的な視点について理解し、生活や社会の中の美術や美術文化に豊かに関わる内容になっていますね。
- ・ 発想や構想に関わる作品や作者等に関わることばや鑑賞作品に解説や作者の情報、時代背景などの説明が丁寧に行われていると感じます。

全員 合意

- ・ 作品解説が作品の見方を限定してしまっている頁がありますね。予め解説を読んでも見方が固定されてしまい、子どもの自由な感じ方を引き出すことが困難になり、鑑賞活動の妨げになる可能性があると感じます。
- ・ 3者の中で、3年間を通じて、鑑賞に親しむことができるように創意工夫された題材数が最も多く、表現活動と関連付けながら、「美術用語」や「学びの資料」などにより、生徒が多様な視点から効率よく造形を豊かにとらえ実感することができる内容も多いだけに、残念ですね。

全員 合意

- ・ 冒頭で、「表現」と「鑑賞」を相互に関連させることの重要性を示し、学習に見通しと意義をもたせるように工夫できているものの、各ページにおいて「表現」と「鑑賞」の内容の示し方が相互に関連するように示されておらず、構成上充分とはいえない面もありますね。

全員 合意

【光村図書】

- ・ 次は、光村図書について内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・ 学習指導要領に示された領域を不足なく取り上げ、発達の段階に応じて系統的に構成しています。
- ・ また、各題材の目標を明確にし、発想や構想、技能、鑑賞に関する資質や能力を身に付けられるような内容になっていますね。

全員 合意

- ・ 内容に関する配慮事項についてはいかがでしょうか。
- ・ 図画工作から美術へ、1 学年から 2・3 学年の学習への展開が考慮されており、スケッチブックの活用法が紹介してありポートフォリオ的に自分の活動を常に振り返られるなど、既習事項を生かしながら発展的な学習ができる内容になっています。
- ・ 作品を鑑賞し、対話が生まれるような発問が表現の頁にも記載されていて表現と鑑賞を関連させながら見方・考え方を働かせることができます。
- ・ 「みんなの工夫」の紹介を通して、生徒のつくる過程をふんだんに示しているのので、同世代の視点から、自主的・自発的な制作が促されるように配慮されていると感じます。

全員 合意

- ・ では、分量や使用上の便宜についてはいかがでしょうか。
- ・ 年間授業時数に即して、地域や学校の実情に合わせて題材を選択し、指導計画を立てられるよう工夫されていますね。
- ・ ただ、題材数が他者と比べ少ないです。1 学年に差はほとんどないのですが、2・3 学年の題材数が 10 以上異なります。若年層が増えつつある現在、この方が一題材に対してしっかりと準備できやすい側面もあるかと思いますが、ベテランの先生にとってはカリキュラム・マネジメントがしにくいかもしれませんね。

全員 合意

- ・ 光村図書は単に QR コードを掲載しているだけでなく、その脇に内容の文字情報の説明があり、360 度動画も 21 本もあるなど、関連資料を通しての主体的学習を促しやすいですね。
- ・ 生徒の立場、教員の指導をそれぞれ、キャラクターを使って具体的に示したり、生徒作品が出来るまでの流れを紹介したりすることで、学習の深まりに有効に働くよう工夫されています。
- ・ 印刷・製本等についてはどうでしょうか。
- ・ 白地をうまく活用し、写真のトリミングなどもうまく、すっきりとした見やすいレイアウトができていますので、掲載情報が伝わりやすく感じます。
- ・ 内容よりも紙質に気をとられる恐れがあるが、掲載作品に合わせ、異なる材質の紙に印刷している頁もあるので、生徒の素材に対する興味・関心が深まりやすいですね。
- ・ 印刷加工のバリエーションが豊富であり、教科書に触れたときの手触りの違いを味わうことができるのも好感がもたれます。

全員 合意

- ・ 次に、美術科の選定の観点からお願いします。
- ・ 造形的な視点をもとに日常の 1 日の生活におけるデザインなどとの関わりや働きを見つめ直すことができるように配慮されており、社会の中の美術文化と豊かに関わることができますね。
- ・ 造形的な視点について、作品とともに作者の言葉を掲載し、イメージと形や色の関連を示すことで、教科書を使用する生徒が制作したり、鑑賞したりするときのヒントになり、効果的にその資質・能力を育成することができると考えられます。

全員 合意

- ・ つくるのが苦手だと思っているような生徒でも、題材毎の制作の過程について段階を追って興味を広げたりする工夫があるから美術を好きになるかもしれませんね。

全員 合意

- ・ 先ほども少し触れましたが、生徒と先生のキャラクターに吹き出しがついていて、色々な意見を言い合う様子が紹介されています。また、言語活動に特化した（2・3年 p.76・77 ウェビングマップ、曼荼羅チャート、ベン図、ワールドカフェの紹介）頁をうまく活用すると、表現意図を言葉に表したり、人に感じたことを伝えたり、受け入れたりする活動を充実できます。

全員 合意

- ・ 一つの題材の中で、鑑賞と表現を関連付けて構成しているため、鑑賞を独立させず学習できるので、教師が授業を展開しやすいだけでなく、何より生徒が美術科の観点から見方・考え方を働かせやすいところが魅力です。
- ・ 「表現」と「鑑賞」を一体化させることで相互に関連し授業をイメージしやすく、実感を伴いながら深い学びに繋げることができるような内容になっています。
- ・ 作品の発想を広げ構想を練るための具体的な手立が示されているため、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるような内容になっていますね。

全員 合意

- ・ 「北斎」と「ゴッホ」や「絵巻物」と「漫画の表現」など、比べて学習できるようにしたり、「鑑賞」の学習の中に「問い」を盛り込んだりすることで、主体的・対話的な深い学びが実現できる内容になっています。

全員 合意

- ・ 注意のいる作業には「！」のマークが記載され、安全指導の徹底できるように分かりやすく表示してあり、適切である。

【日本文教出版】

- ・ 最後に、日本文教出版の内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・ 学習指導要領に示された領域を不足なく網羅し、系統的に3分冊で構成されています。
- ・ 3分冊なのは、この日本文教出版だけです。
- ・ 美術科の目標達成に結びつくように、内容項目について発達段階に応じて作品が選定されていると感じます。

全員 合意

- ・ 内容に関する配慮事項についてはいかがでしょうか。
- ・ 障がい者やハンデのある人のためのデザイン（2・3上 pp.44～47 4ページ分）やICTや漫画を活用した題材、キャリア教育の視点から俳優やアニメーション作品の紹介などがあり、生徒は美術を社会や生活と結びつけながら、より身近に感じることができます。
- ・ 題材を系統立てて設定しており、3分冊なので、3年間の美術での学びを積み上げることができる構成になっています。
- ・ 言語活動の場面や制作過程、作者の言葉、アイデアスケッチの紹介、対話が生まれるような発問があることで、思いを伝え合う活動が充実できますね。

全員 合意

- ・ では、分量や使用上の便宜についてはいかがでしょうか。
- ・ 年間授業時数に即して、地域や学校の実情に合わせて題材を選択し、指導計画を立てられるよう、工夫されています。
- ・ 学びを支える巻末資料が充実していますね。

- ・ 見出しの“表現”と“鑑賞”が重なり合うような表示になっているので、関連付けて考えていくことの重要性が分かりやすいです。
- ・ 写真ではその面白さが伝わりづらい作品について、QRコードのリンクの動画でその面白さが伝わるようになっています。特に、空間全体を使った作品については、写真ではなく動画でこそ、そのよさが伝わっていると感じます。

全員 合意

- ・ 印刷・製本等についてはどうでしょうか。
- ・ 高精細印刷を用いて色味や細部の再現にこだわっているため画像が鮮明であり、鑑賞体験への配慮が工夫されていますね。
- ・ 2・3学年では、教科書は比較的軽く、持ち運びやすい。

全員 合意

- ・ 紙の質が若干厚めであることから、やや広げにくいですね。
- ・ 次に、美術科の選定の観点からお願いします。
- ・ 一つの題材に対して、さまざまな作品展開が紹介されています。生徒の実態に合わせた制作が行える工夫があると感じます。
- ・ 確かに、2・3学年の題材には、同じテーマに対して平面と立体の紹介をしている内容がありますね。

全員 合意

- ・ 題材の造形的な捉え方ができる「造形的な視点」により具体的な問いかけをしているため、造形的な見方を身に付け、主体的・対話的で深い学びを実現することができる内容になっています。

全員 合意

- ・ 一方で、事前に造形的な視点を限定することで既習事項を生かしにくくなったり、生徒自身による気付きや発見から授業展開をしにくくなったり、画一的な見方や表現の仕方に導いてしまう可能性もありますね。

全員 合意

- ・ それぞれの職業で美術を生かしている人たちの扱うことなどで、学びが将来どのような場面で生かされるのかが伝わりやすく、美術がこれからの人生や生活に大きく関わってくることが分かりやすいです。
- ・ また、「作者の言葉」やアーティストの発想方法紹介などにより、作品の主題や工夫したポイントが分かり、発想・構想を深め、生徒が主題を生み出しやすい流れができています。

全員 合意

- ・ デザインや工芸の題材においてはより多くの他者を対象とすることで、生徒が社会性や客観性を意識できるようにすることが望ましいが、2・3学年の題材設定には、自己に向けた制作内容がみられるのが気になります。

全員 合意

- ・ 本日は、ここまでです。次回は、学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

令和2年7月6日（火） 教育センター 205室

：司会（教頭）

13：40～ 選定基準の読み合わせおよび、前回までの調査研究の読み上げ

13：55～ 市民学校の意見を各自読む

- ・ 市民の意見からについてです。
- ・ 市民の意見としては、まず、光村図書の教科書について、なじみのない生徒に親しみをもてるようにする工夫やそういった前提のもとに編集されているという意見。
- ・ 段階を追って興味を広げていく工夫があり、1年生用の教材としてぜひ手にしてほしいという意見。
- ・ これも光村図書で鑑賞図版についてだと考えられますが、六曲一双の「燕子花図」が優れているといった意見がありました。みなさんのお考えをお聞かせください。
- ・ 光村図書の教科書は、谷川俊太郎さんの「うつくしい」とは何かという身のまわりへの問いかけに始まり、美術になじみの無い生徒にいかに親しみを持ってもらう工夫が親しみやすいイラストなどからも感じられます。段階を追って興味を広げていく工夫というのは、おそらく、中学生の発達段階に合った制作過程が複数示してあることだと考えられますが、1年生用の教科書としてぜひ手にしてほしいと思う」という意見に賛成できます。

全員 合意

- ・ 六曲一双の「燕子花図」についてはいかがですか。
- ・ 「燕子花図」の場合は屏風として折って立てている図と平面図が比較できるようになっています。このことに限りませんが、前回の協議にもできましたように、「北斎」と「ゴッホ」や「絵巻物」と「漫画の表現」など、比べて学習できるようにしたり、「鑑賞」の学習の中に「問い」を盛り込んだりすることで、主体的・対話的な深い学びが実現できる内容になっています。

全員 合意

- ・ 続いて学校からの意見をお願いします。開隆堂からお願いします。
- ・ 学校からの意見の中に、色相環に色の名前が記されておらず、授業で取り扱いにくいといったものがありますが、確かに、色の名前を使わずに、色彩の学習はすすめにくいですね。

全員 合意

- ・ 学校からの意見のとおり、QRコードのリンク先の内容が充実していない内容が気になります。このままでは、主体的にリンク先を調べた生徒が意欲を高められるとは思えない内容までありますね。

全員 合意

- ・ 他者も同じですが、注意のいる作業には「！」のマークが記載され、安全指導の徹底できるように分かりやすく表示してあり、適切ですね。特に、開隆堂は「！」のマークが多く、細やかに安全指導への配慮がなされていると感じます。

全員 合意

- ・ 次は光村図書についてお願いします。
- ・ 学校からの意見にもありますが、他の2者と比べて教科書の幅が約2cm狭く、頁によっては図版が小さめなものあり、気になりますね。けれども、図版の小ささは感じさせないと思います。

全員 合意

- ・ 学校から多くの意見ありましたが、トレーシングペーパーを綴じこみ、描きこみができることで、

より実感的に遠近法など理解でき、学びを深めていくことができますね。

全員 合意

- ・ 最後に日本文教出版についてお願いします。
- ・ いくつかの学校の意見が指摘していますが、図版や文章が多く掲載されており、それが雑然とした配置でレイアウトに統一感がなく、全体的なまとまりに欠けていて、見やすい紙面になっていない感じがします。

全員 合意

- ・ 身の回りのものから、環境・空間・祭りなど、幅広く例示を扱っており、生活や社会に結びつけた題材が多いので、親しみやすく、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていると感じます。

全員 合意

- ・ 以上で3者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

16 : 00 ~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

16 : 20 ~ 印刷・確認 → 修正

16 : 40 ~ 鑑文に押印・片付け

17 : 00 終了